

# 1. 運動・スポーツの実施状況

## 1-1 実施頻度

図1-1-1は芦屋市民の全体及び性別の運動・スポーツ実施状況を示している。「週4日以上」運動・スポーツを行っている人は全体16.5%、男性17.9%、女性15.2%、「週3日程度」は全体12.5%、男性9.1%、女性14.3%となっている。さらに、「週に3日程度」と「週に4日以上」を合わせると、全体で29.0%に上っている。これは、全国平均（内閣府、2009）の23.5%を5.5ポイント上回っている。

年代別にみると（図1-1-3、図1-1-5）、『週に3日以上』（「週に4日以上」と「週に3日程度」）運動・スポーツを行っている人は、男性の高齢者層では37.3%、中年層では22.5%、壮年層では11.8%、女性の高齢者層では39.8%、中年層では27.0%、壮年層では18.3%となっている。このように、年齢層が高いほど運動・スポーツを『週に3日以上』行っている人が多いことがわかる。

次に、『週に1日以上』の定期的実施者を検証する。今回の調査では、全体で62.0%に上り、前回の52.1%から約10ポイント増加した。性別では、前回と比較して、男性が7.8ポイント、女性が9.9ポイント増えた。また、全国平均（内閣府、2009）の45.3%を16.7ポイント上回り、芦屋市民の活動的なライフスタイルを反映している。今回調査の性別・年代別の『週に1日以上』の定期的実施率を前回と比較してみよう。男性の壮年層では前回より13.5ポイント、中年層では8.9ポイント、高齢者層では5.6ポイント増加した。女性の壮年層では15.1ポイント、中年層では4.1ポイント、高齢者層では8.8ポイント増加した。このように男女とも前回調査と比較して20~39歳の壮年層の定期的実施者が大幅に増加した。

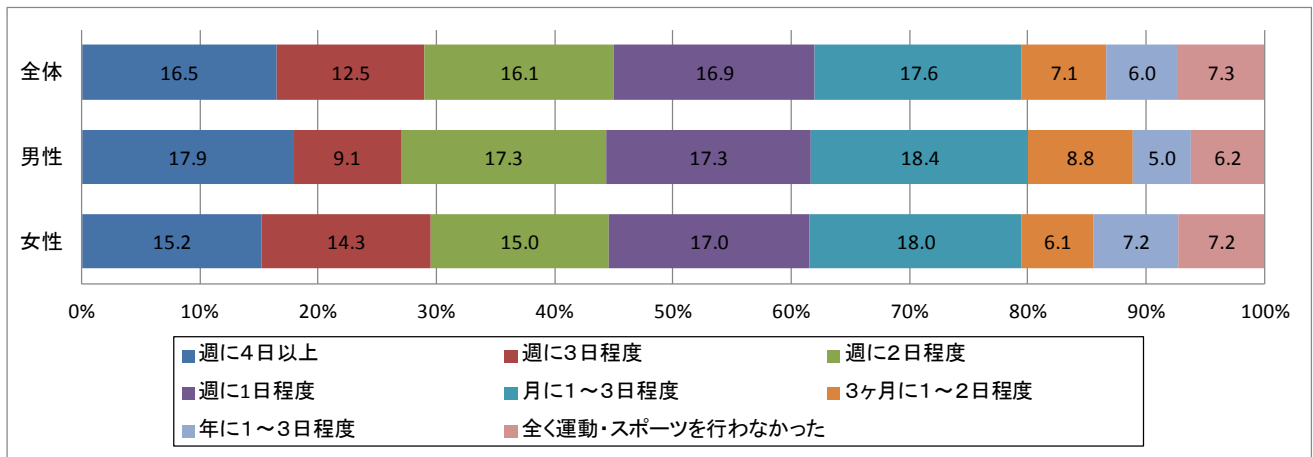


図1-1-1 運動・スポーツの実施状況

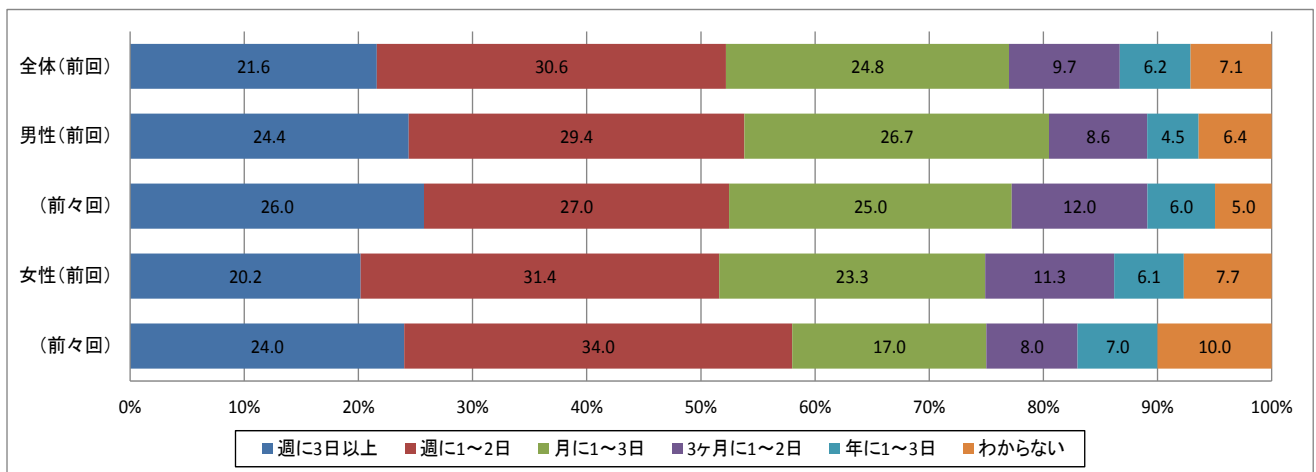


図1-1-2 運動・スポーツの実施状況(性別、前回・前々回分)

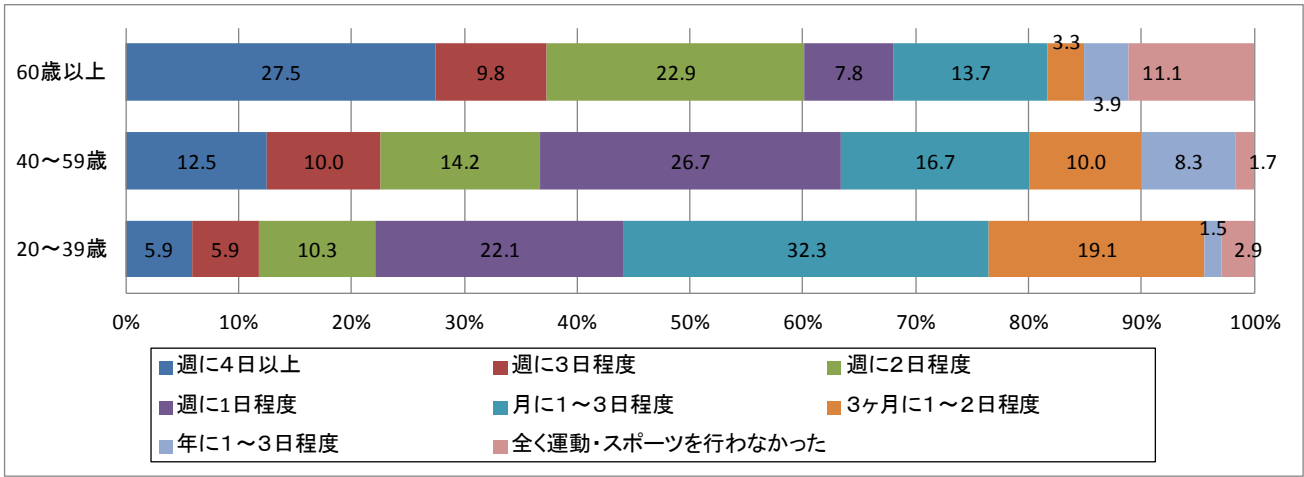


図 1-1-3 運動・スポーツの実施状況(男性・年代別)

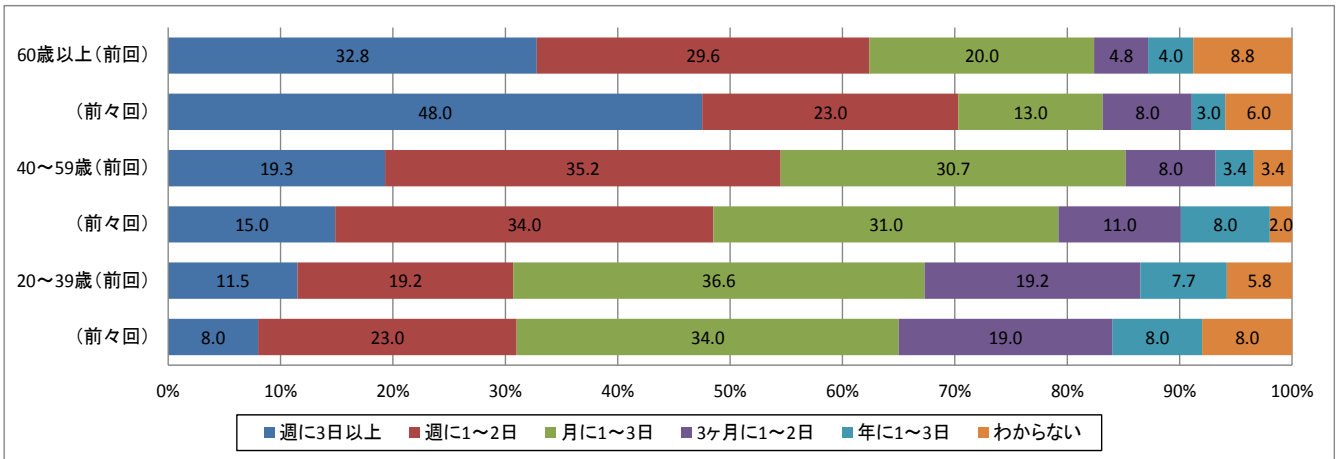


図 1-1-4 運動・スポーツの実施状況 (男性・年代別、前回・前々回分)

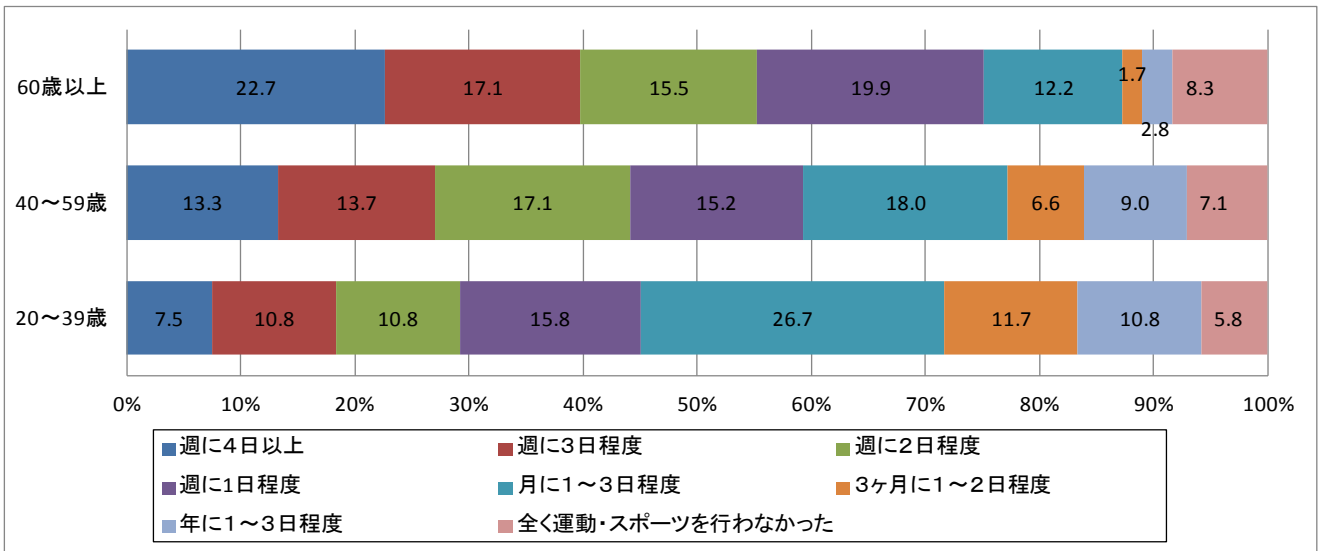


図 1-1-5 運動・スポーツの実施状況(女性・年代別)

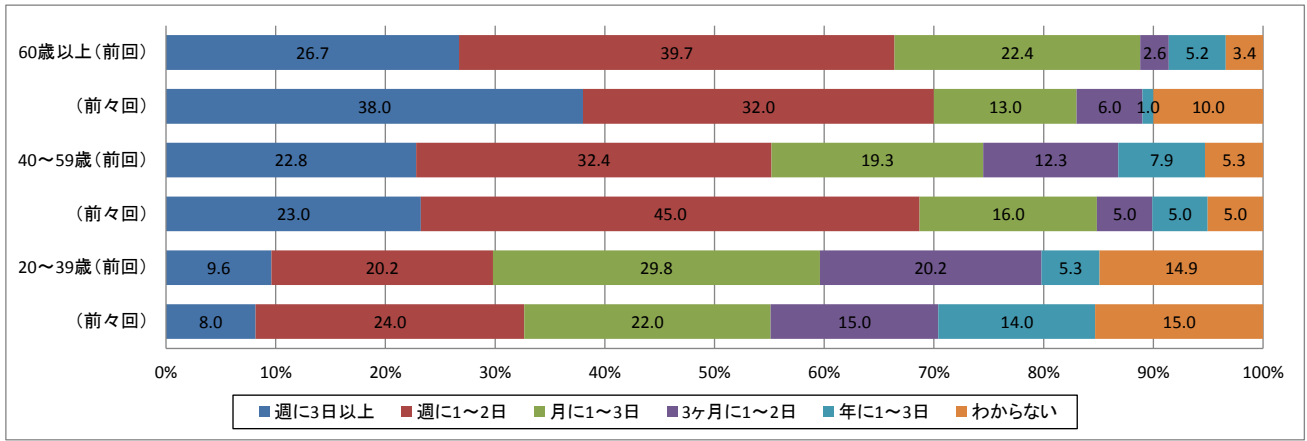


図 1-1-6 運動・スポーツの実施状況（女性・年代別、前回・前々回分）

## 1-2 実施種目

この一年間に行った運動・スポーツ種目は、1位「散歩・ウォーキング」(64.1%)、2位「ストレッチング」(28.5%)、3位「体操」(26.2%)、4位「ジョキング・ランニング」(13.5%)、5位「水泳」(12.7%)の順である。今回の調査で新たに加えた「ストレッチング」が全体の2位に入った。性別にみると、男性においては1位「散歩・ウォーキング」(60.6%)、2位「ゴルフ(コース)」(22.2%)、3位「ジョキング・ランニング」(19.4%)となっており、女性においては1位「散歩・ウォーキング」(66.4%)、2位「ストレッチング」(36.4%)、3位「体操」(32.3%)となっている。

前回と比較すると、主に「散歩・ウォーキング」、「体操」、「ジョキング・ランニング」、「サイクリング」が増加した一方で、「水泳」「ゴルフ(コース)」「ゴルフ(練習場)」「テニス」の減少が目立つ。性別では、男性の「ジョキング・ランニング」が8.4%から19.4%と11.0ポイント増加し、「サイクリング」が5.9%から14.3%と8.4ポイント増加した。女性では、今回調査から加わった「ストレッチング」が36.4%、「体操」が21.1%から32.3%と11.2ポイント増加した。

表1-2 この1年間に行った運動・スポーツ種目(複数回答)

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	散歩・ウォーキング	60.6	55.0	64.1	53.2	57.1	60.6	66.9	52.9	66.4
2	ストレッチング	-	-	28.5	-	-	16.8	-	-	36.4
3	体操	16.2	15.7	26.2	11.6	11.7	17.1	20.1	21.1	32.3
4	ジョキング・ランニング	6.0	8.9	13.5	6.5	8.4	19.4	5.5	6.9	9.6
5	水泳	19.2	13.0	12.7	15.4	14.7	14.9	22.4	11.6	11.3
6	ゴルフ(コース)	17.4	14.4	12.0	30.4	25.6	22.2	6.4	4.9	5.1
7	サイクリング	9.7	7.3	11.0	8.5	5.9	14.3	10.8	7.8	8.7
8	ハイキング	4.7	9.8	10.1	9.2	10.6	8.9	0.9	9.8	10.9
9	ヨガ	-	7.9	7.6	-	1.1	1.0	-	13.3	12.1
10	ゴルフ(練習場)	4.4	9.2	7.4	6.8	16.8	11.7	2.3	3.5	4.5
11	登山	7.5	6.5	7.4	8.5	9.2	8.3	6.7	4.3	6.8
12	テニス	10.0	7.8	7.0	9.9	7.7	6.3	10.2	11.6	7.4
13	ボウリング	8.3	6.6	5.4	11.3	6.6	6.0	5.8	5.8	4.9
14	ダンス	2.0	3.1	3.8	0.3	1.5	1.6	3.5	4.3	5.3
15	釣り	3.5	3.8	3.4	5.1	8.1	7.3	2.0	0.3	0.9
16	卓球	5.3	2.9	3.1	5.8	2.6	2.9	4.9	2.9	3.2
17	野球	1.4	2.5	2.8	2.7	4.4	7.0	0.3	0.6	0.0
18	マシントレーニング	3.8	2.3	2.8	5.8	4.8	2.9	2.0	1.4	2.8
19	スキー	4.9	3.5	2.5	5.1	3.3	4.1	4.7	3.5	1.5
20	サッカー、フットサル	1.7	2.1	2.5	3.8	4.4	5.1	0.0	0.6	0.9
21	クォーターテニス(スポンジテニス)	-	-	2.3	-	-	1.9	-	-	2.6
22	スノーボード	1.7	1.8	1.8	1.7	1.1	1.3	1.7	2.3	2.1
23	キャンプ	-	2.5	1.7	-	1.5	1.9	-	3.5	1.5
24	エアロビクス	2.7	4.1	1.5	0.7	1.8	0.0	4.4	6.1	2.6
25	バドミントン	1.1	2.8	1.4	0.0	0.7	1.0	2.0	4.6	1.7
26	太極拳	-	-	1.3	-	-	1.0	-	-	1.5
27	バレーボール	0.8	1.6	1.0	0.7	0.0	0.6	0.9	3.2	1.3
28	なわとび	1.4	1.3	0.9	0.7	0.4	0.3	2.0	1.7	1.3
29	バスケットボール	-	-	0.9	-	-	1.6	-	-	0.4
30	グラウンド・ゴルフ	0.9	1.2	0.8	1.0	1.8	1.3	0.9	0.3	0.4
31	スキューバダイビング	-	-	0.8	-	-	1.3	-	-	0.4
32	ソフトボール	-	-	0.6	-	1.1	1.3	-	-	0.2
33	乗馬	-	-	0.6	-	-	0.0	-	-	1.1
34	ベタンク	-	-	0.6	-	-	0.6	-	-	0.6
35	ボクシング	-	-	0.6	-	-	1.3	-	-	0.2
36	モータースポーツ	-	-	0.6	-	-	1.0	-	-	0.4
37	サーフィン	-	1.2	0.5	-	2.2	1.3	-	0.3	0.0
38	パラグライダー	-	-	0.5	-	-	0.3	-	-	0.6
39	ソフトテニス	3.1	1.3	0.4	5.8	-	0.6	0.9	1.7	0.2
40	カヌー	-	-	0.4	-	-	0.3	-	-	0.4
41	民謡	-	-	0.4	-	-	0.6	-	-	0.2
42	剣道	-	-	0.3	-	-	0.6	-	-	0.0
43	ボートセーリング	-	-	0.3	-	-	0.6	-	-	0.0
44	ヨット	0.9	1.2	0.3	1.4	2.6	0.6	0.6	0.3	0.0
45	弓道	-	-	0.1	-	-	0.3	-	-	0.0
46	ゲートボール	-	-	0.1	-	-	0.0	-	-	0.2
47	スケート	-	-	0.1	-	-	0.3	-	-	0.0
48	ラグビー	-	-	0.1	-	-	0.3	-	-	0.0
49	陸上競技	-	-	0.1	-	-	0.3	-	-	0.0

### 1-3 実施時間

表1-3はスポーツ実施者の活動時間帯を示している。男性の1位は「休日の午前」、2位は「休日の午後」、女性の1位は「平日の午前」、2位は「平日の午後」となっており、前回調査と同じく、男性が休日実施型、女性が平日実施型であると言える。前々回、前回と比較してみると、男性においては「休日の午前」、女性においては「平日の午前」が大幅に増加していることがわかる。「早朝」「休日の夜」の実施者は比較的少ないものの、前回、前々回と比較して今回は増加している。

表1-3 運動・スポーツの実施時期

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	平日の午前	23.1	23.0	34.1	15.9	15.4	24.7	29.1	29.5	40.4
2	休日の午前	17.5	20.1	29.5	26.0	29.3	42.9	10.3	13.6	20.6
3	平日の午後	20.8	23.9	27.1	12.5	19.8	21.7	27.9	26.9	30.7
4	休日の午後	21.9	21.7	25.6	26.6	31.1	32.4	17.9	15.0	21.0
5	特に決まっていない	28.6	25.1	21.3	29.6	24.9	18.2	27.9	25.4	23.4
6	平日の夜	7.3	10.9	17.5	8.7	10.6	14.6	6.2	10.7	19.4
7	早朝	5.6	5.3	9.9	6.9	6.2	14.0	4.4	4.9	7.1
8	休日の夜	1.9	2.1	4.6	2.4	2.6	4.2	1.5	1.7	5.0

### 1-4 実施理由

表1-4は、運動・スポーツの実施理由を示している。全体で1位は「健康・体力づくりのため」、2位は「楽しみ、気晴らしとして」、3位は「運動不足を感じるから」、4位は「友人・仲間との交流として」、5位は「美容や肥満解消のため」となっている。

性別で見ると、女性の実施理由において「楽しみ、気晴らしとして」、「美容や肥満解消のため」が男性より強く、男性の実施理由においては「自己の記録や能力を向上させるため」、「精神修養や訓練のため」が女性より強くなっている。前回、前々回と比較すると、「楽しみ、気晴らしとして」運動・スポーツを実施している人が増加している傾向にある。

表1-4 運動・スポーツの実施理由（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男子(%)			女子(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	健康・体力づくりのため	77.9	77.3	76.0	77.9	77.7	76.3	77.9	78.3	76.0
2	楽しみ、気晴らしとして	61.2	60.9	65.9	59.2	58.2	63.6	62.9	63.3	68.0
3	運動不足を感じるから	51.7	49.0	51.7	48.8	50.9	52.3	54.1	49.1	51.9
4	友人・仲間との交流として	43.2	39.1	38.4	42.9	41.4	38.9	43.5	38.4	37.0
5	美容や肥満解消のため	26.4	26.8	28.6	13.8	13.2	15.2	37.1	38.2	37.6
6	自然と触れ合うため	33.4	23.9	25.7	32.2	29.3	26.8	34.4	20.2	25.5
7	家族のふれあいとして	14.8	15.4	15.4	12.8	16.5	15.8	16.5	14.7	16.2
8	自己の記録や能力を向上させるため	7.9	6.6	7.5	10.4	7.7	10.2	5.9	6.9	5.7
9	精神修養や訓練のため	4.8	7.0	4.8	6.2	9.5	6.5	3.5	6.4	3.5
10	その他	1.1	0.8	1.4	1.7	0.7	1.5	0.6	0.6	1.0
11	分からない	0.5	0.4	1.3	0.3	0.7	1.2	0.6	0.3	1.4

### 1-5 実施仲間

表 1-5 は運動・スポーツの実施仲間を示している。1 位は男女ともに「自分一人で」であり、6 割強に上っている。続いて全体の 2 位は「家族と」、3 位は「友人と」であったが、男性においては 2 位が「友人と」、女性においては「家族と」になっている。また、男性は「職場の人や学校の仲間と」が女性と比べて多く、女性は「自分が住んでいる地域（近所）の人と」が男性と比べて多かった。

前回、前々回と比較してみると、「自分一人で」が大幅に増加しており、「家族と」、「友人と」も増加傾向にあるが、「サークルやクラブの人と」が前回に比べて減少している。

表 1-5 運動・スポーツの実施仲間（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	自分一人で	51.7	49.3	64.6	54.0	53.8	64.8	49.7	45.7	64.5
2	家族と	33.7	29.0	36.8	32.5	28.6	27.9	34.7	30.9	42.7
3	友人と	36.6	30.4	35.5	34.9	29.3	36.6	37.9	32.7	34.8
4	サークルやクラブの人と	16.7	20.8	17.5	17.6	20.1	18.9	15.9	21.1	16.5
5	職場の人や学校の仲間と	4.3	5.1	8.1	3.8	7.3	15.4	4.7	3.2	3.3
6	自分が住んでいる地域(近所)の人と	9.5	6.0	7.8	17.6	5.9	4.1	2.6	6.1	10.3
7	その他	1.0	2.3	1.6	1.0	1.9	1.5	0.9	2.3	1.7

## 1-6 実施希望種目

表1-7は、これから始めてみたい運動・スポーツ種目の一覧である。1位は「水泳」(26.8%)、2位は「ヨガ」(26.0%)、3位は「散歩・ウォーキング」(23.5%)、4位は今回から新しく加わった「ストレッチング」(23.0%)、5位は「ハイキング」(21.4%)、6位は「ジョキング・ランニング」(19.7%)、7位は「サイクリング」(17.5%)、8位は「登山」(16.7%)、9位は「テニス」(15.7%)、10位は「体操」(15.1%)の順になっている。個人で手軽に行える種目が大半を占めている。

性別で見ると、男性に多いのは「ジョキング・ランニング」、「サイクリング」、「登山」、「釣り」であり、女性に多いのは「ヨガ」、「散歩・ウォーキング」、「ダンス」、「バドミントン」である。前回、前々回と比較してみると、前々回から前回にかけて減少していた「ハイキング」、「サイクリング」、「登山」といった『アウトドアスポーツ』が今回は増加の傾向にある。また、「ジョキング・ランニング」も男女ともに大幅に増えている。

表 1-6 これから始めてみたい運動・スポーツ種目（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	水泳	28.3	28.0	26.8	22.9	23.8	27.8	32.8	32.4	26.3
2	ヨガ	-	21.1	26.0	-	9.2	10.3	-	30.3	35.4
3	散歩・ウォーキング	18.2	21.6	23.5	16.0	19.8	18.6	20.1	23.7	26.5
4	ストレッチング	-	-	23.0	-	-	21.3	-	-	24.0
5	ハイキング	21.0	15.8	21.4	19.1	16.6	22.1	22.7	14.7	21.0
6	ジョギング・ランニング	7.7	9.2	19.7	8.2	9.9	24.0	7.3	8.4	17.1
7	サイクリング	12.2	11.3	17.5	14.3	15.4	22.1	10.5	8.1	14.8
8	登山	13.7	11.4	16.7	16.0	13.2	22.4	11.6	10.1	13.2
9	テニス	11.8	9.5	15.7	11.9	10.3	12.9	11.6	11.6	17.4
10	体操	9.7	8.2	15.1	8.2	7.0	13.3	11.0	9.2	16.2
11	ダンス	12.7	10.7	13.8	7.5	5.9	4.2	17.2	14.7	19.6
12	ゴルフ（コース）	9.7	9.1	11.7	10.2	9.5	14.4	9.3	9.5	10.0
13	マシントレーニング	8.0	8.5	10.3	10.6	10.3	12.2	5.8	7.8	9.1
14	ソフトテニス	-	-	9.4	-	-	10.6	-	-	8.7
15	バドミントン	6.3	5.3	9.4	2.7	4.0	6.5	9.3	6.6	11.2
16	卓球	7.5	7.2	9.0	4.4	5.5	11.4	10.2	8.4	7.5
17	乗馬	8.2	7.3	8.6	7.2	5.1	6.8	9.0	9.2	9.6
18	釣り	11.1	7.6	8.6	18.1	13.6	16.3	5.2	2.6	3.9
19	太極拳	10.8	8.5	8.4	8.2	7.3	8.0	13.1	9.8	8.7
20	ゴルフ（練習場）	7.7	7.6	8.3	6.5	9.2	8.7	8.7	6.6	8.0
21	ボウリング	7.4	6.7	8.1	5.5	7.3	8.7	9.0	6.6	7.8
22	スキューバダイビング	8.0	6.3	7.8	11.3	6.6	10.6	5.2	6.4	6.2
23	エアロビクス	9.4	5.3	5.6	2.0	2.9	2.7	15.7	9.0	7.3
24	スノーボード	3.6	3.1	5.1	3.4	2.9	4.9	3.8	3.5	5.3
25	パラグライダー	-	-	5.1	-	-	6.8	-	-	4.1
26	スキー	8.5	5.3	4.9	8.9	4.8	5.3	8.1	4.0	4.6
27	キャンプ	7.4	6.9	4.7	7.8	8.4	7.6	7.0	5.5	3.0
28	なわとび	3.8	3.1	4.3	2.4	2.9	2.7	4.9	2.9	5.3
29	ヨット	4.7	4.1	4.3	8.2	5.1	4.9	1.7	3.5	3.9
30	カヌー	3.3	3.8	4.1	5.1	5.5	6.5	1.7	2.6	2.7
31	アーチェリー	2.5	3.8	3.9	2.7	4.8	5.3	2.3	3.8	3.0
32	グラウンド・ゴルフ	3.8	4.0	3.7	4.8	3.7	4.6	2.9	4.0	3.2
33	サーフィン	-	5.0	3.7	-	6.2	4.6	-	4.3	3.2
34	弓道	-	-	2.9	-	-	2.7	-	-	3.0
35	サッカー、フットサル	-	-	2.7	-	-	4.2	-	-	1.8
36	バレーボール	-	-	2.4	-	-	2.3	-	-	2.5
37	ゲートボール	-	-	2.3	-	-	3.4	-	-	1.6
38	モータースポーツ	-	-	2.3	-	-	5.3	-	-	0.5
39	民謡	-	-	2.3	-	-	1.9	-	-	2.5
40	野球	-	-	2.1	-	-	3.4	-	-	1.4
41	クォーターテニス（スポンジテニス）	-	-	2.0	-	-	1.1	-	-	2.5
42	スケート	-	-	2.0	-	-	0.8	-	-	2.7
43	ソフトボール	-	-	1.9	-	-	2.7	-	-	1.4
44	ペタンク	-	-	1.7	-	-	1.5	-	-	1.8
45	ボートセーリング	-	-	1.7	-	-	3.0	-	-	0.9
46	トライアスロン	-	-	1.6	-	-	3.0	-	-	0.7
47	空手	-	-	1.4	-	-	1.9	-	-	1.1
48	剣道	-	-	1.4	-	-	2.3	-	-	0.9
49	バスケットボール	-	-	1.4	-	-	1.9	-	-	1.1
50	ハングライダー	-	-	1.3	-	-	1.9	-	-	0.9
51	少林寺拳法	-	-	1.1	-	-	1.9	-	-	0.7
52	ボクシング	-	-	1.1	-	-	1.1	-	-	1.1
53	柔道	-	-	0.4	-	-	0.8	-	-	0.2
54	ラグビー	-	-	0.4	-	-	1.1	-	-	0.0
55	ボート	-	-	0.3	-	-	0.4	-	-	0.2
56	ローンボウルズ	-	-	0.3	-	-	0.4	-	-	0.2
57	アイスホッケー	-	-	0.1	-	-	0.4	-	-	0.0
58	陸上競技	-	-	0.1	-	-	0.4	-	-	0.0



1-7 実施の阻害要因

表 1-7 は運動・スポーツ実施の阻害要因を示している。全体では 1 位「身近に施設がない」(21.0%)、2 位「勤務時間が長い」(19.1%)、3 位「経済的なゆとりがない」(17.7%)、4 位「家事が忙しい」(16.7%)、5 位「休暇がない」(12.9%) となっている。この結果から『時間的要因』と『経済的要因』が阻害要因になっていることがわかる。

性別にみると、男性においては、「勤務時間が長い」、「休暇がない」などといった『時間的要因』が占める割合が多い。女性においては、「家事が忙しい」、「子どもがいる」、「運動が苦手である」などといった性役割による阻害要因と、運動に対する苦手意識が影響していることがうかがえる。

前回、前々回と比較してみると、「身近に施設がない」、「運動・スポーツをするのが面倒である」が男女ともに増加傾向にある。

表 1-7 運動・スポーツ実施の阻害要因（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	身近に施設がない	18.6	17.2	21.0	19.7	16.5	22.5	26.5	18.2	20.1
2	勤務時間が長い	20.3	21.3	19.1	31.5	27.0	26.9	10.9	16.8	14.0
3	経済的なゆとりがない	-	-	17.7	-	-	16.3	-	-	18.7
4	家事が忙しい	10.8	16.2	16.7	3.8	4.2	4.7	16.8	25.5	24.6
5	休暇がない	16.5	15.6	12.9	24.6	19.1	16.3	9.7	12.3	10.6
6	年をとっている	11.0	11.4	11.9	11.4	14.8	14.8	10.6	9.6	10.0
7	一緒に行く仲間がいない	11.6	10.9	11.8	11.4	13.1	13.0	10.6	8.6	11.0
8	運動すると疲れる	9.4	11.6	11.3	5.9	8.9	8.9	12.4	14.2	13.0
9	子どもがいる(育児に忙しい)	9.5	13.1	11.2	6.6	4.6	7.4	12.1	20.1	13.8
10	運動が苦手である	9.5	8.5	10.6	6.6	4.2	4.4	12.1	12.3	14.8
11	運動・スポーツをするのが面倒である	7.9	7.8	10.4	8.7	7.2	7.7	7.4	6.9	12.2
12	運動・スポーツに関する情報が不足している	10.5	10.2	10.2	9.7	11.0	8.9	11.2	9.6	11.0
13	健康上の理由から	-	-	7.1	-	-	6.5	-	-	7.5
14	世話を必要とする人がいる	5.4	9.0	6.7	1.7	6.3	2.7	8.5	10.6	9.4
15	指導者がいない	4.6	4.4	4.1	4.5	5.5	4.4	4.7	4.0	3.9
16	通勤時間が長い	5.6	5.6	3.4	9.3	6.3	4.7	2.4	5.3	2.6

## 2. 健康・体力の状況

### 2-1 健康状態の自己評価

図 2-1-1 は、全体及び性別の健康状態の自己評価を示している。「大いに健康」と思っている人が全体で 12.4%、男性で 15.4%、女性で 10.7%である。「まあ健康」と答えた人は、全体で 71.6%、男性で 70.6%、女性で 72.8%であり、性差はほとんど見られない。「大いに健康」と「まあ健康」を合わせると、84.0%になり、芦屋市民の多数は自己の健康状態を良好であると評価している。

性別・年代別で見ると（図 2-1-2、図 2-1-3）、男女ともに壮年層において「大いに健康」と答えた人の割合が高い。前回と比較すると、「大いに健康」と答えた人の割合が男女ともに増加している一方で、「あまり健康でない」と答えた人の割合も男女ともに増加している。

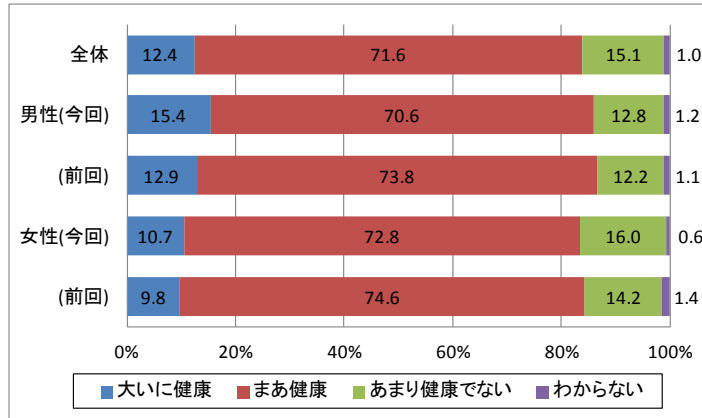


図 2-1-1 健康状態の自己評価

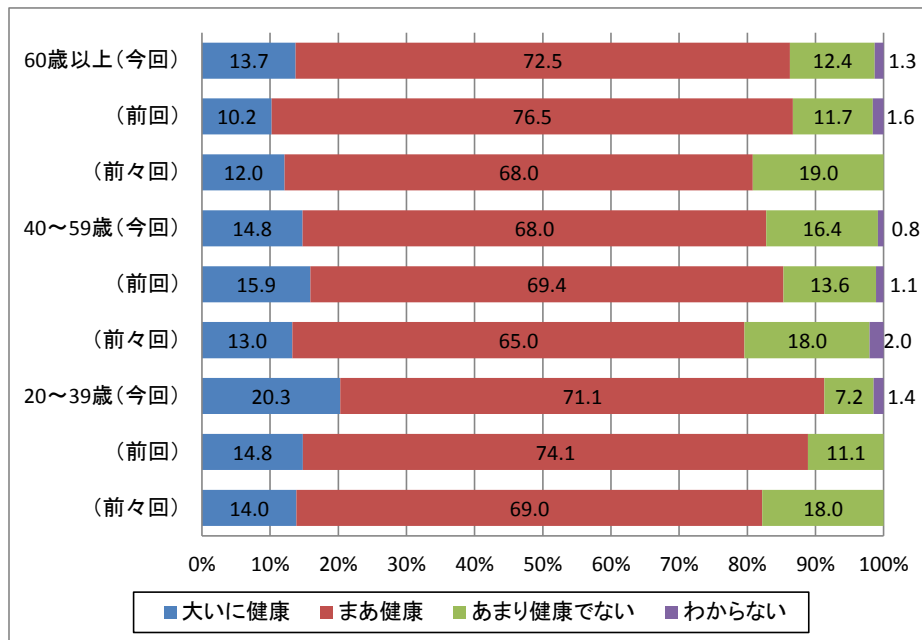


図 2-1-2 健康状態の自己評価(男性・年代別)

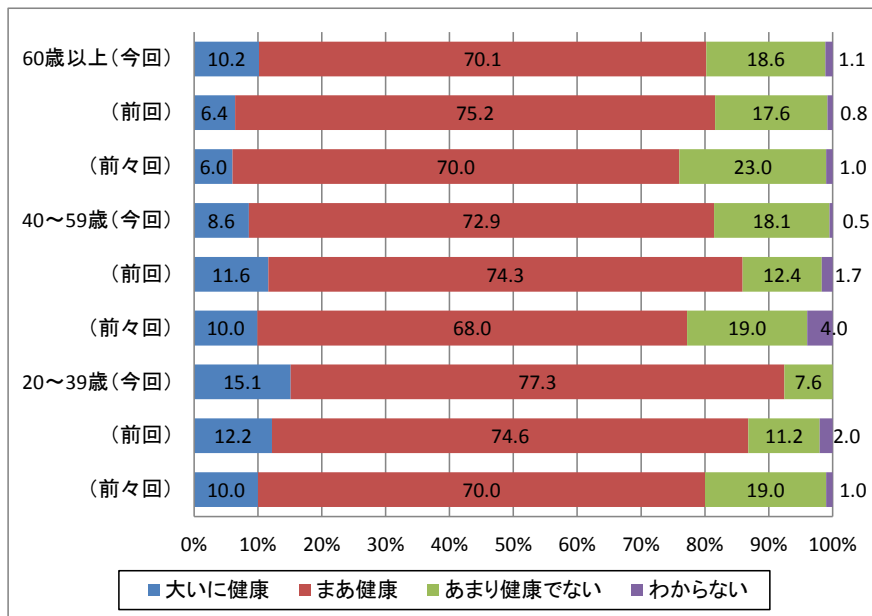


図 2-1-3 健康状態の自己評価(女性・年代別)

## 2-2 体力の自己評価

図 2-2-1 は、全体及び性別の体力の自己評価を示している。「自信がある」と答えた人の割合は全体で 10.5%、男性で 14.2%、女性で 8.3%となっている。一方で、「不安がある」と答えた人の割合は、全体で 28.9%、男性で 20.3%、女性で 32.5%となっており、男性より女性が上回っている。

性別・年代別にみると(図 2-2-2、図 2-2-3)、男女ともに中年層において「自信がある」と回答した人の割合が高かったが、「不安がある」と答えた人の割合も男女ともに中年層において高い。

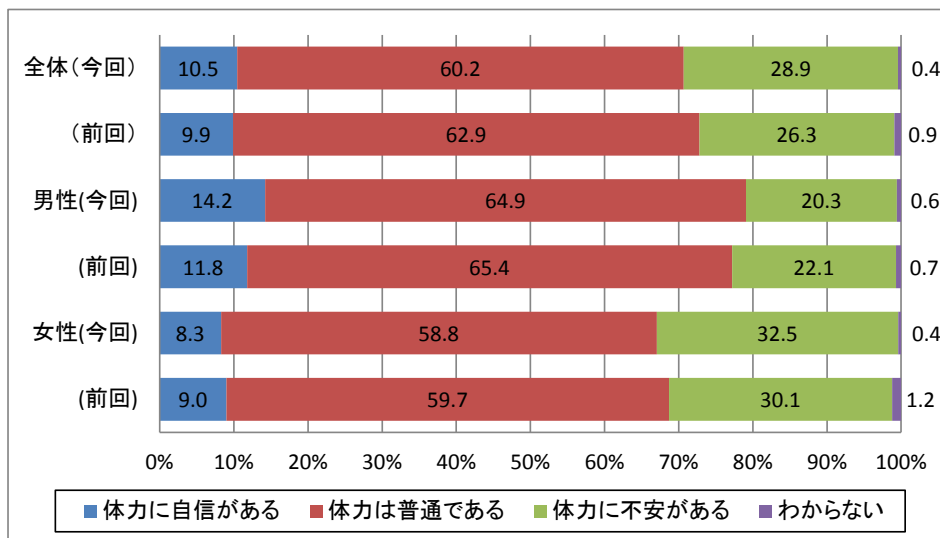


図 2-2-1 体力の自己評価

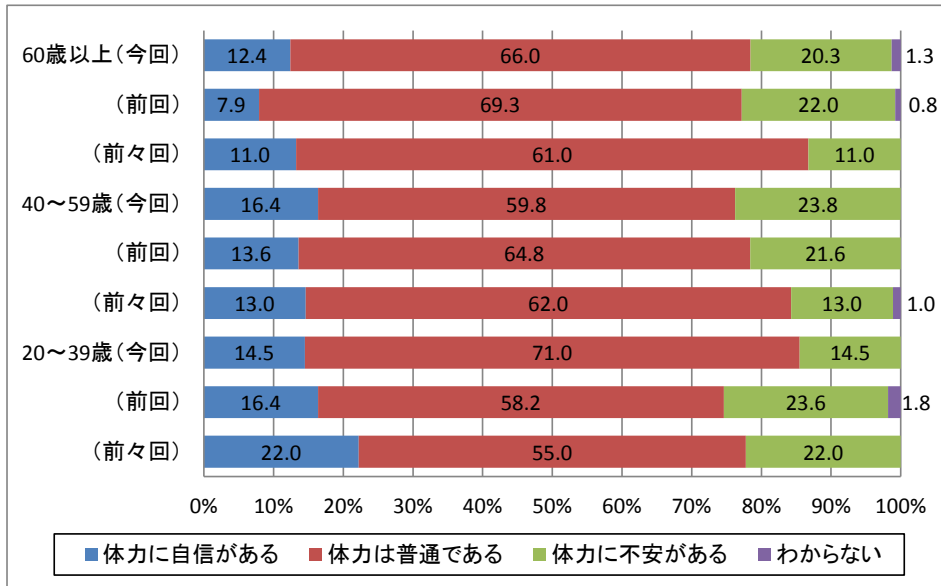


図 2-2-2 体力の自己評価(男性・年代別)

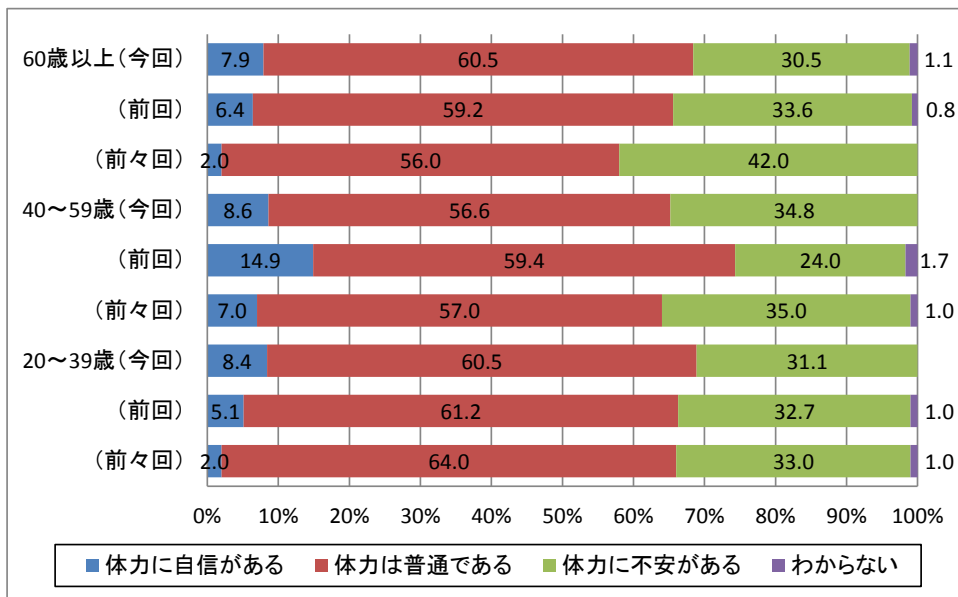


図 2-2-3 体力の自己評価(女性・年代別)

### 2-3 健康・体力への配慮

図2-3-1は健康と体力への配慮を全体及び性別で示している。「常に注意を払っている」は全体で38.3%、男性で39.8%、女性で35.7%となっており、前回と比べて女性の割合がやや減少しているものの、ほとんど変わらない。

性別・年代別でみると（図2-3-2、図2-3-3）、男性は高齢者層において「常に注意を払っている」の割合が大幅に増加しているが、前々回から前回にかけて増加傾向を示した中年層、壮年層においては今回減少した。しかし、壮年層において「あまり注意を払っていない」の割合は前々回から減少傾向にあり、「時々注意を払っている」の割合も増加傾向にあることから、少しずつ健康と体力に配慮する人が増えていることがうかがえる。また、女性は高齢者層において「常に注意を払っている」の割合が減少傾向にあることや、中年層と壮年層において前回と比べて「あまり注意を払っていない」の割合が増加し、「常に注意を払っている」の割合が減少していることから、健康と体力に注意を払っている人の割合がやや減っていることが示唆される。

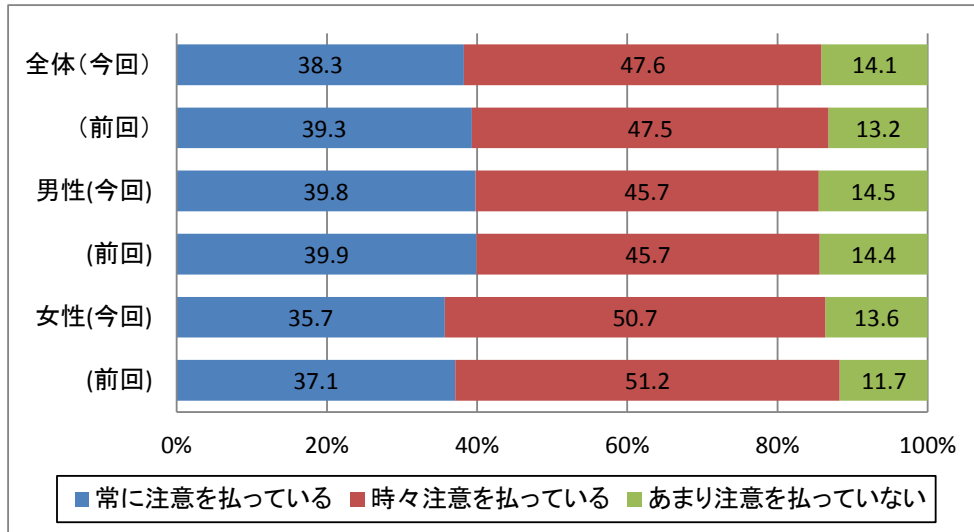


図2-3-1 健康と体力への配慮

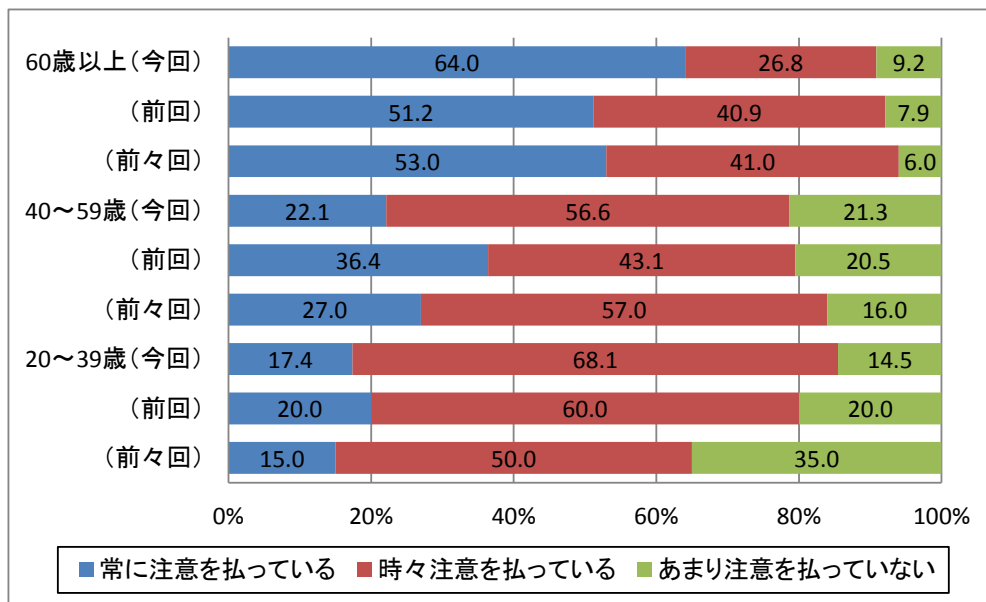


図2-3-2 健康と体力への配慮(男性・年代別)

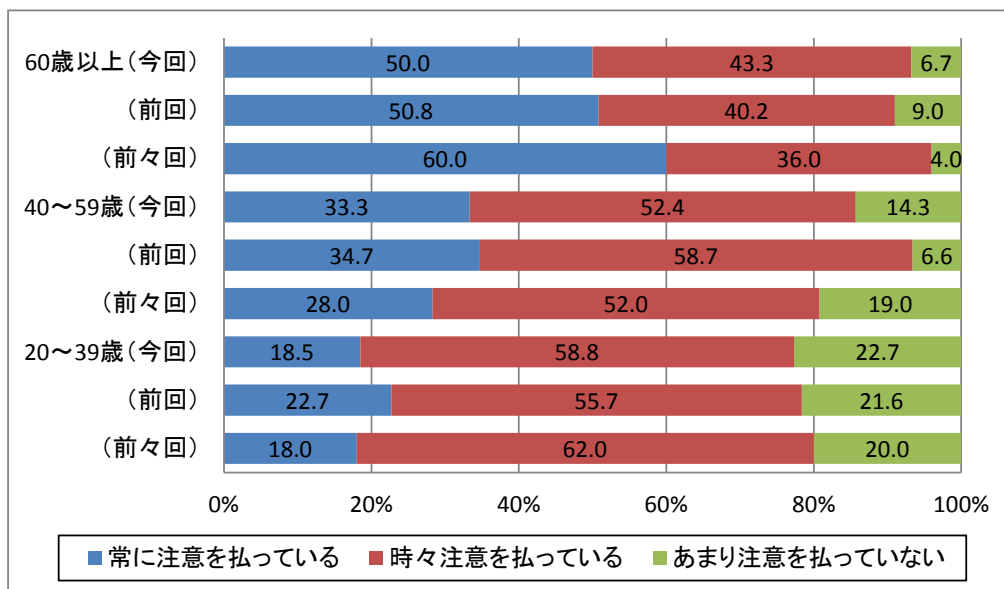


図 2-3-3 健康と体力への配慮(女性・年代別)

#### 2-4 健康・体力に関する自覚症状

健康・体力に関する自覚症状としては、1位「体力の衰え」(63.2%)、2位「運動不足」(49.8%)、3位「精神的な疲労やストレス」(43.1%)、4位「肉体的な疲労」(30.4%)、5位「生活習慣病に対する心配」(26.8%)、6位「肥満」(21.4%)の順となっている。

性別で比較してみると、男性は女性と比べて「生活習慣病に対する心配」を自覚症状としてあげる人が多く、女性は男性に比べて「精神的な疲労やストレス」をあげる人が多かった。

前回、前々回と比較してみると、「体力の衰え」、「肉体的な疲労」が増加傾向にある一方で、「運動不足」、精神的な疲労やストレス」は減少傾向にある。

表 2-4 健康・体力に関する自覚症状(複数回答)

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	体力の衰え	59.3	60.7	63.2	55.0	59.9	60.3	62.9	63.3	63.6
2	運動不足	54.5	51.6	49.8	52.9	45.4	49.6	55.9	55.1	51.9
3	精神的な疲労やストレス	47.1	45.8	43.1	45.7	40.9	38.3	48.2	49.3	47.7
4	肉体的な疲労	26.1	26.4	30.4	24.6	22.7	29.9	27.4	28.5	31.2
5	生活習慣病に対する心配	28.0	26.7	26.8	34.6	32.0	33.0	22.4	24.3	22.5
6	肥満	25.1	21.5	21.4	28.4	23.8	26.4	22.4	19.6	18.4

#### 2-5 健康法

図 2-5 は、芦屋市民が健康をどのように維持しているかを示している。1位「食生活に気をつける」(72.7%)、2位「睡眠や休養をよくとる」(60.6%)、3位「運動やスポーツ(体操や散歩を含む)をする」、4位「規則正しい生活をする」(46.6%)、5位「酒、タバコなどを控える」(22.2%)の順になっている。性別でみると、男性は「酒、タバコを控える」が女性と比べて高く、女性は「食生活に気をつける」、「睡眠や休養をよくとる」、「規則正しい生活をする」が男性と比べて高い。

表 2-5 健康法（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	食生活に気をつける	69.3	72.1	72.7	59.5	62.4	61.6	78.2	80.3	80.0
2	睡眠や休養をよくとる	57.9	54.9	60.6	54.3	48.7	54.6	60.9	60.0	63.7
3	運動やスポーツ(体操や散歩を含む)をする	56.6	52.9	52.1	60.2	58.7	53.2	53.5	49.6	50.7
4	規則正しい生活をする	42.0	44.0	46.6	34.6	37.3	36.1	48.2	49.0	53.8
5	酒、タバコなどを控える	21.5	22.0	22.2	25.3	26.6	24.6	18.2	18.3	20.4
6	心がけている事はない	6.7	7.4	6.5	8.3	10.3	9.0	8.3	4.4	5.0
7	その他	3.2	3.2	4.5	3.1	2.4	4.0	3.2	4.2	4.9
8	分からない	-	-	1.1	-	-	1.2	-	-	1.2

## 2-6 子供の運動不足とその理由

表 2-6 は、子どもの運動不足の理由を一覧にしている。1 位「テレビを見る時間やゲームをする時間等が多く、外で遊ばなくなった」(77.4%) が大幅に増加していることが目立つ。続いて、2 位「勉強・塾などに忙しくて時間がない」(58.9%)、3 位「社会環境の変化(交通事故、犯罪等)に伴い、外は危険である」(44.4%) となっているが、前回、前々回の質問項目であった「車が多く、外は危険だ」に犯罪というキーワードが加わったため今回増加したものと考えられる。

性別で比較してみると、男性において増加傾向にある「親が過保護、教育熱心で子どもを外に出さない」が女性においては減少傾向にあることや、女性において増加傾向にある「勉強・塾などに忙しくて時間がない」が男性においては減少傾向にあるなど、男女間でやや違いが見られた。

表 2-6 子どもの運動不足の理由（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	テレビを見る時間やゲームをする時間等が多く、外で遊ばなくなった	50.7	51.6	77.4	49.8	49.6	80.1	51.5	52.2	76.9
2	勉強・塾などに忙しくて時間がない	54.4	56.6	58.9	50.5	54.4	51.2	57.6	57.6	64.3
3	社会環境の変化(交通事故、犯罪等)に伴い、外は危険である (前々回、前回:車が多く、外は危険だ)	21.9	26.1	44.4	17.3	20.1	36.4	25.9	31.2	51.3
4	遊んだり運動したりする場所がない	35.1	40.4	41.9	34.6	41.9	43.6	35.6	39.4	41.6
5	遊んだり運動したりする方法を知らない	30.8	31.3	35.1	33.2	30.4	38.4	28.8	33.2	33.0
6	社会や親が遊びや運動の大切さを教えていない	28.9	32.8	34.5	34.9	34.8	37.6	23.8	30.9	31.3
7	親が過保護、教育熱心で子供を外に出さない	27.8	33.9	33.5	28.4	34.4	38.7	27.4	32.8	30.1
8	遊んだり運動したりする仲間(友達)がいない	28.6	30.6	31.9	28.0	30.0	28.3	29.1	31.0	33.2
9	歩く機会がない	32.6	28.2	28.6	25.6	23.3	23.7	38.5	33.2	32.0
10	その他	5.7	6.6	5.3	5.5	6.2	4.6	5.9	7.0	5.6
11	わからない	1.0	0.6	1.5	0.7	1.1	1.4	1.2	0.3	1.6

### 3. スポーツ行事・クラブへの参加

#### 3-1 スポーツ行事への参加

図3-1は、この1年間に市教育委員会や市体育協会、スポーツクラブ21（コムスク）などが催すスポーツ行事に参加したかどうかを示している。「参加した」が全体8.8%、男性9.4%、女性8.5%となっている。また、「参加しなかった」は全体54.7%、男性49.2%、女性58.2%となっており、女性の割合が高い。「知らなかった」は全体33.2%、男性38.2%、女性29.9%となっており、男性の割合が高くなっている。不参加の人（「参加しなかった」と「知らなかった」）は87.9%になっており、参加率としては低いものになっている。

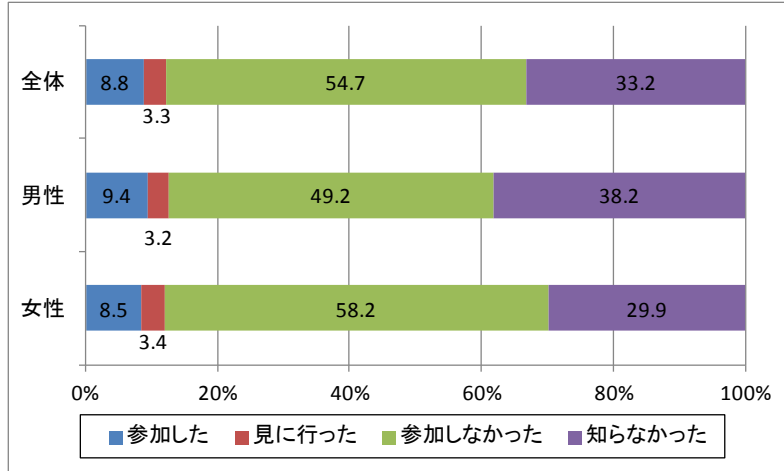


図3-1 この1年のスポーツ行事への参加状況

#### 3-2 参加したい地域スポーツ行事

表3-2は今後参加したいスポーツ行事を全体及び性別で示している。順番をみると、1位「レクリエーション・イベント」(26.6%)、2位「体力テスト」(24.0%)、3位「参加したくない」(21.3%)となっている。また、「レクリエーション・イベント」と「体力テスト」が前回と比べて男女ともに減少している一方で、「参加したくない」が増加している。

性別で比較してみると、男性は「野外活動」と「競技大会」が女性と比べて高くなっており、女性は「スポーツ教室」が男性と比べて高くなっている。

表3-2 参加したい地域スポーツ行事の内容（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	レクリエーション・イベント	28.5	31.2	26.6	29.8	30.4	27.2	27.4	33.2	25.8
2	体力テスト	24.5	26.4	24.0	24.2	28.2	23.2	24.7	25.4	24.6
3	参加したくない	20.3	14.7	21.3	20.4	14.7	20.8	20.3	14.2	22.3
4	野外活動（キャンプ・ハイキング等）	25.4	19.9	20.2	28.7	21.2	24.6	22.6	17.9	16.6
5	スポーツ教室	-	-	19.0	-	-	15.5	-	-	22.5
6	わからない	13.5	14.7	18.1	11.1	10.6	16.7	15.6	17.3	18.4
7	競技大会	7.6	7.9	7.5	12.1	11.4	12.9	3.8	6.4	4.5
8	その他	1.0	1.4	1.4	1.0	0.8	20.8	0.9	2.4	1.2



### 3-3 参加したいスポーツ教室

表3-3は、3-2でスポーツ教室に参加したいと回答した人の中から具体的な種目をあげてもらい、それらを一覧にしたものである。1位は「ヨガ」(24.6%)、2位は「ストレッチング」(22.8%)である。これらは特に女性から人気の高い種目となっている。3位「テニス」(19.9%)、4位「水泳」(17.5%)、5位「ゴルフ(練習場)」と続くが、「水泳」と「ゴルフ(練習場)」は男性に人気の高い種目となっている。そして、6位「散歩・ウォーキング」(16.4%)、7位「体操」(13.5%)、8位「太極拳」(11.7%)、9位「ダンス」(10.5%)、10位「ジョキング・ランニング」(7.6%)となっている。

前回、前々回と比較してみると、「ヨガ」、「テニス」、「ゴルフ(練習場)」、「体操」、「太極拳」、「ダンス」、「ジョキング・ランニング」などが増加傾向にあると言える。

表3-3 参加したいスポーツ教室 (n=168) (複数回答)

順位	種目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	ヨガ	-	8.8	24.6	-	3.7	9.6	-	13.9	30.6
2	ストレッチング	-	-	22.8	-	-	15.4	-	-	26.1
3	テニス	9.7	8.1	19.9	9.2	7.0	21.2	10.2	9.5	20.7
4	水泳	16.8	13.8	17.5	10.2	12.5	25.0	22.4	15.6	13.5
5	ゴルフ(練習場)	5.5	4.1	17.0	6.5	1.1	23.1	4.7	3.2	12.6
6	散歩・ウォーキング	19.2	16.3	16.4	16.7	17.6	15.4	21.2	15.6	16.2
7	体操	6.0	6.3	13.5	3.7	4.0	9.6	7.8	7.5	14.4
8	太極拳	5.5	2.6	11.7	4.4	2.2	7.7	6.4	2.9	14.4
9	ダンス	5.0	-	10.5	1.0	-	3.8	8.7	-	14.4
10	バドミントン	1.9	2.3	8.2	0.7	0.7	3.8	3.0	3.8	10.8
11	ジョキング・ランニング	3.9	3.5	7.6	3.4	2.9	9.6	4.4	4.3	5.4
12	ゴルフ(コース)	6.4	6.2	7.6	9.2	8.8	7.7	4.1	4.3	7.2
13	エアロビクス	5.5	4.5	7.0	1.0	0.7	1.9	9.3	7.8	9.0
14	乗馬	2.8	2.2	7.0	1.7	2.2	1.9	3.8	2.6	9.9
15	ハイキング	6.9	7.5	6.4	7.2	7.0	1.9	6.7	8.7	8.1
16	登山	3.3	3.2	5.8	4.1	2.9	9.6	2.6	3.8	3.6
17	サイクリング	2.0	2.8	5.3	2.0	4.4	9.6	2.0	1.7	3.6
18	アーチェリー	-	-	5.3	-	-	9.6	-	-	3.6
19	マシントレーニング	3.0	3.4	5.3	3.8	3.7	9.6	2.3	2.6	3.6
20	ボウリング	1.6	1.3	4.1	2.0	1.1	5.8	1.2	1.4	3.6
21	カヌー	0.9	1.6	3.5	2.0	1.5	3.8	0.0	1.4	3.6
22	グラウンド・ゴルフ	1.4	1.3	2.9	1.7	2.2	3.8	1.2	0.6	2.7
23	サッカー、フットサル	-	-	2.9	-	-	1.9	-	-	2.7
24	卓球	3.9	2.9	2.9	2.0	2.6	3.8	5.5	3.5	2.7
25	パラグライダー	-	-	2.9	-	-	3.8	-	-	1.8
26	スキー	2.4	1.0	2.3	2.0	1.1	5.8	2.6	0.6	0.9
27	クォーターテニス(スポンジテニス)	-	-	2.3	-	-	-	-	-	3.6
28	ヨット	1.4	1.8	2.3	2.0	2.6	5.8	0.9	1.2	0.9
29	ソフトテニス	-	1.3	1.8	-	1.8	-	-	0.9	2.7
30	バレーボール	-	1.8	1.8	-	1.8	1.9	-	2.0	1.8
31	スキューバダイビング	1.9	1.2	1.8	3.1	1.5	3.8	0.9	1.2	0.9
32	スケート	-	-	1.8	-	-	1.9	-	-	1.8
33	スノーボード	-	-	1.8	-	-	-	-	-	2.7
34	ペタンク	-	-	1.8	-	-	3.8	-	-	0.9
35	民謡	-	-	1.8	-	-	1.9	-	-	1.8
36	ソフトボール	0.9	1.0	1.2	1.7	1.8	3.8	0.3	0.3	-
37	空手	-	-	1.2	-	-	1.9	-	-	0.9
38	弓道	-	-	1.2	-	-	-	-	-	1.8
39	剣道	-	-	1.2	-	-	-	-	-	1.8
40	釣り	2.4	2.3	1.2	3.4	4.8	1.9	1.5	0.6	0.9
41	バスケットボール	0.9	0.9	1.2	1.4	1.1	1.9	0.6	0.6	0.9
42	ハンググライダー	-	-	1.2	-	-	3.8	-	-	-
43	ボクシング	-	-	1.2	-	-	-	-	-	-
44	ボートセーリング	-	-	1.2	-	-	1.9	-	-	0.9
45	野球	1.1	1.6	0.6	2.4	2.9	1.9	0.0	0.6	-
46	キャンプ	0.8	0.9	0.6	1.0	1.1	-	0.6	0.3	0.9
47	ゲートボール	-	-	0.6	-	-	-	-	-	0.9
48	少林寺拳法	-	-	0.6	-	-	1.9	-	-	-
49	なわとび	-	-	0.6	-	-	-	-	-	0.9
50	モータースポーツ	-	-	0.6	-	-	-	-	-	0.9
51	ローンボウルズ	-	-	0.6	-	-	-	-	-	0.9

### 3-4 スポーツクラブ・同好会への加入

図 3-4 はスポーツクラブや同好会の加入状況を示している。「加入している」は全体 27.3%、男性 28.7%、女性 23.9%となっており、やや男性の割合が高くなっている。「これまで加入したことがない」も男性 48.4%、女性 45.9%と男性の割合が高くなっているため、「過去に加入していたが、今は加入していない」に該当する女性が比較的多いことがうかがえる。

性別・年代別（図 3-4-2、図 3-4-3）でみると、男性においては中年層の「過去に加入していたが、今は加入していない」の割合が高いことが注目される。高齢者層と壮年層は同じような割合となっている。女性においては、壮年層、中年層、高齢者層と年代が上がるにつれて「加入している」の割合が高くなっている。

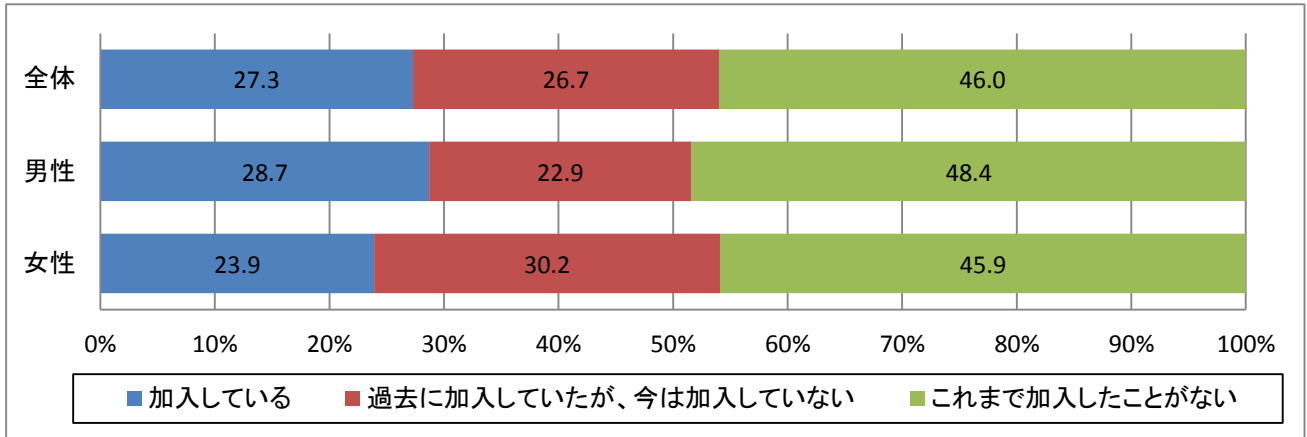


図 3-4-1 スポーツクラブや同好会への加入状況

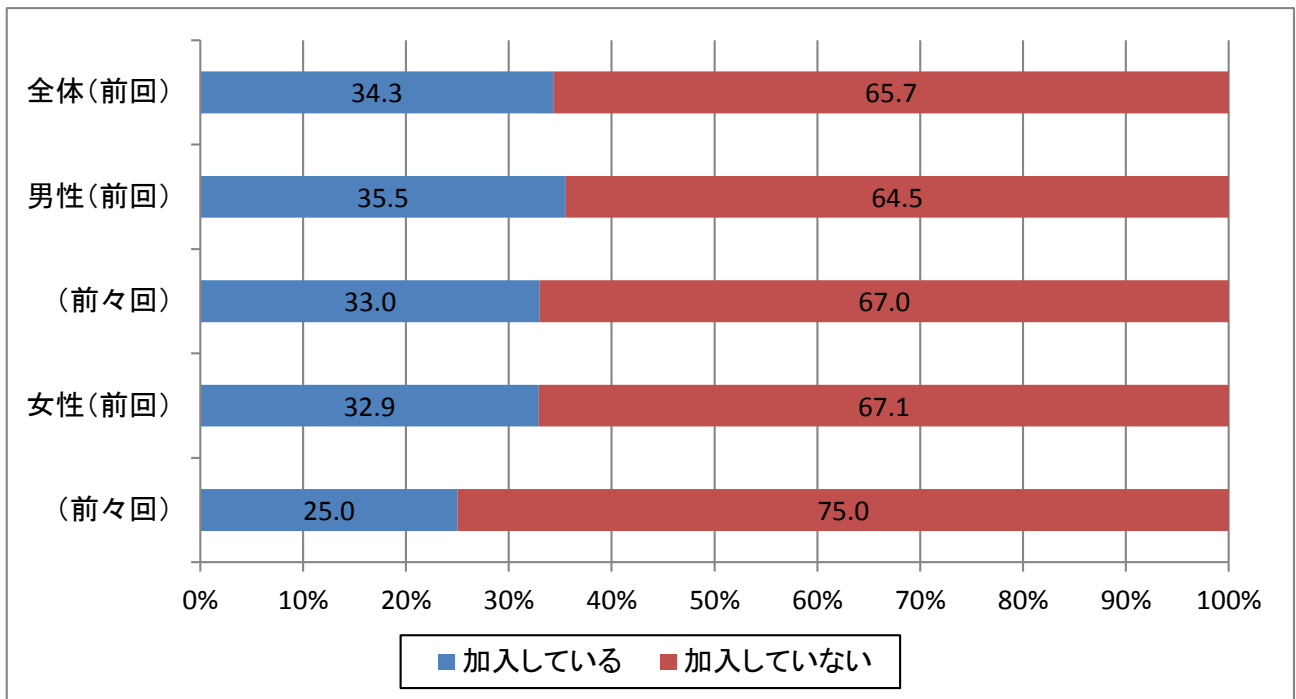


図 3-4-2 スポーツクラブや同好会への加入状況（前回・前々回分）

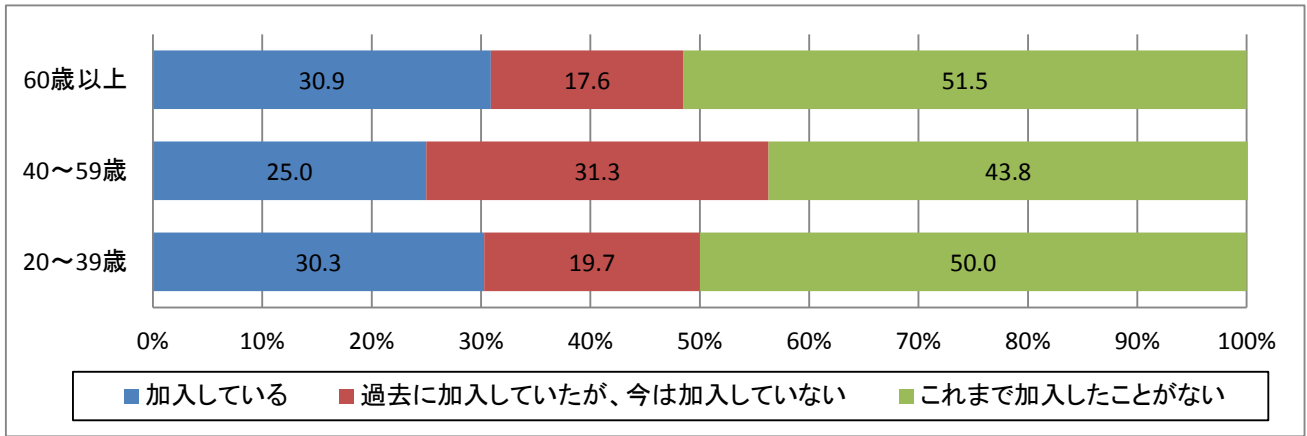


図 3-4-3 スポーツクラブや同好会への加入状況(男性・年代別)

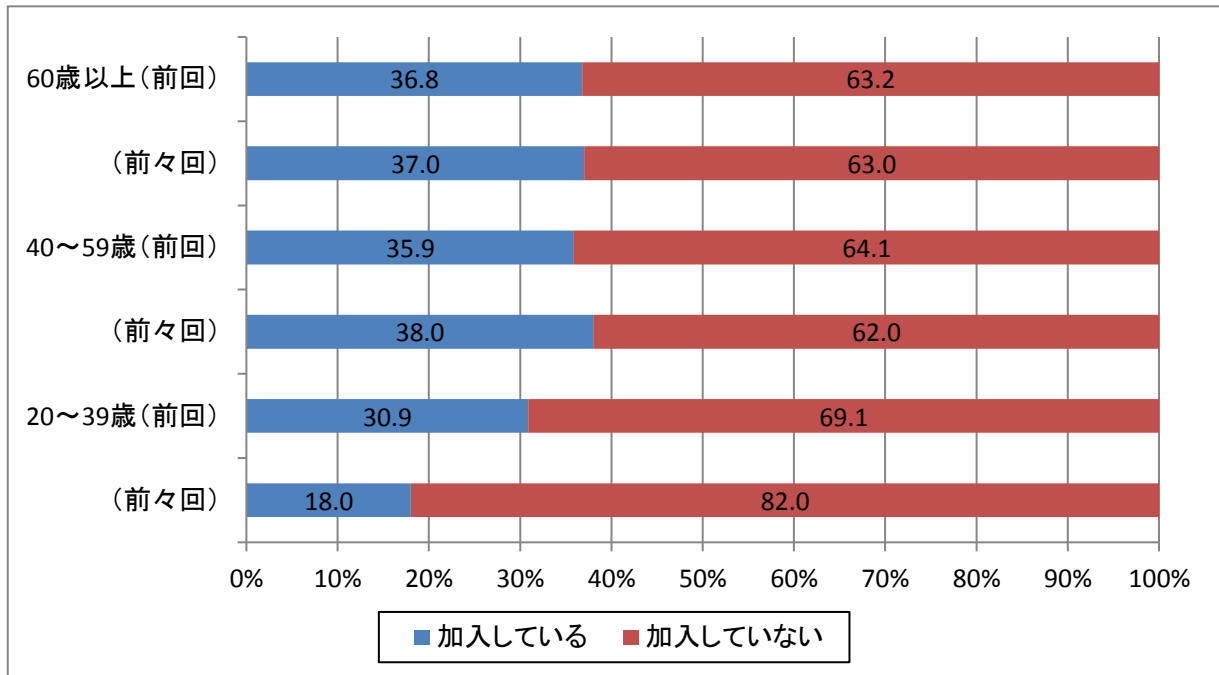


図 3-4-4 スポーツクラブや同好会への加入状況 (男性・年代別、前回・前々回分)

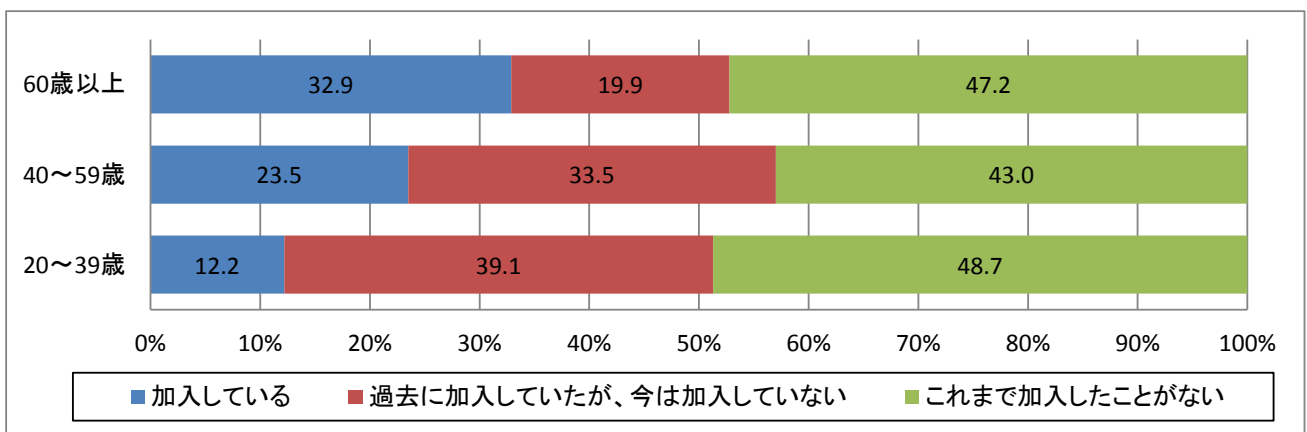


図 3-4-5 スポーツクラブや同好会への加入状況(女性・年代別)

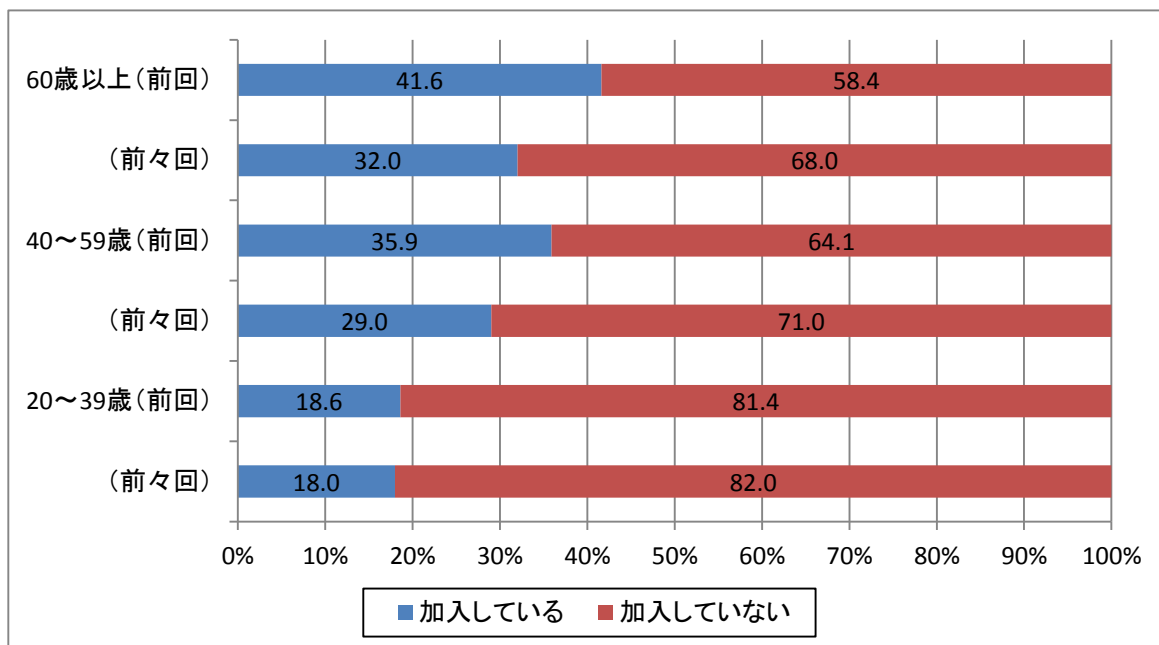


図 3-4-6 スポーツクラブや同好会への加入状況 (女性・年代別、前回・前々回分)

### 3-5 加入しているクラブや同好会の種目

スポーツクラブや同好会に加入している人たちは、どのような種目を行っているのだろうか。表 3-5-1 は職場のクラブや同好会に加入している人の内訳、表 3-5-2 は学校のクラブや同好会に加入している人の内訳、表 3-5-3 はスポーツクラブ 21・コムスクや同好会に加入している人の内訳、表 3-5-4 は民間スポーツクラブ (フィットネスクラブ) や会員制のクラブに加入している人の内訳を示している。特に民間スポーツクラブ (フィットネスクラブ) や会員制のクラブに加入している人が多く、その中でも「水泳」、「テニス」に加え、男性においては「ゴルフ (コース)」、女性においては「ヨガ」が人気を集めている。

表 3-5-1 加入しているクラブや同好会の種目(職場、n=30)

順位	種目	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	ジョギング・ランニング	16.7	15.8	25.0
2	テニス	16.7	5.3	25.0
3	サッカー、フットサル	16.7	21.1	12.5
4	ゴルフ(コース)	10.0	10.5	-
5	ハイキング	10.0	10.5	12.5
6	野球	6.7	10.5	-
7	グラウンド・ゴルフ	6.7	10.5	-
8	散歩・ウォーキング	3.3	5.3	-
9	ゴルフ(練習場)	3.3	5.3	-
10	剣道	3.3	5.3	-
11	ボウリング	3.3	-	12.5
12	モータースポーツ	3.3	-	12.5

表 3-5-2 加入しているクラブや同好会の種目(学校、n=10)

順位	種目	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	バレーボール	30.0	33.3	20.0
2	テニス	20.0	-	20.0
3	散歩・ウォーキング	10.0	-	20.0
4	野球	10.0	33.3	-
5	サッカー、フットサル	10.0	-	20.0
6	登山	10.0	33.3	-
7	その他	10.0	-	20.0

表 3-5-3 加入しているクラブや同好会の種目(スポーツクラブ 21・コミスク、n=39)

順位	種目	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	体操	20.5	-	25.0
2	テニス	10.3	7.1	15.0
3	ペタンク	10.3	21.4	5.0
4	その他	10.3	7.1	15.0
5	ストレッチング	7.7	-	10.0
6	ソフトテニス	5.1	7.1	5.0
7	太極拳	5.1	7.1	5.0
8	卓球	5.1	7.1	5.0
9	登山	5.1	7.1	5.0
10	散歩・ウォーキング	2.6	7.1	-
11	野球	2.6	7.1	-
12	クォーターテニス(スポンジテニス)	2.6	-	-
13	剣道	2.6	7.1	-
14	グラウンド・ゴルフ	2.6	7.1	-
15	サッカー、フットサル	2.6	7.1	-
16	なわとび	2.6	-	5.0
17	ヨガ	2.6	-	5.0

表 3-5-4 加入しているクラブや同好会の種目(民間スポーツクラブ、n=103)

順位	種目	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	水泳	19.4	21.1	18.5
2	テニス	17.5	18.4	14.8
3	ゴルフ(コース)	8.7	18.4	-
4	ヨガ	8.7	-	14.8
5	マシントレーニング	7.8	5.3	11.1
6	ストレッチング	5.8	5.3	7.4
7	ダンス	5.8	-	9.3
8	ジョギング・ランニング	4.9	2.6	7.4
9	体操	4.9	-	7.4
10	ゴルフ(練習場)	2.9	5.3	1.9
11	エアロビクス	2.9	2.6	3.7
12	その他	2.9	5.3	1.9
13	野球	1.9	5.3	-
14	太極拳	1.9	5.3	-
15	散歩・ウォーキング	1.0	-	1.9
16	柔道	1.0	-	-
17	ボウリング	1.0	2.6	-
18	ボクシング	1.0	2.6	-

### 3-6 加入したいスポーツクラブ・同好会

表 3-6 は今後加入したいスポーツクラブや同好会を示している。1位「民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ）や会員制のクラブ」（42.2%）、2位「加入したくない」（29.3%）、3位「スポーツクラブ 21・コミスクや同好会」（23.4%）、4位「職場のクラブや同好会」（5.8%）、5位「学校のクラブや同好会」（3.7%）の順になっている。

前回、前々回と比べて、「民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ）や会員制のクラブ」が大幅に増加しており、特に女性の民間クラブ志向が強い。また、「スポーツクラブ 21・コミスクや同好会」に加入したい人は増加している。ただ、「加入したくない」と回答した人も増加しており、特に女性においては 30.2%に上った。

表 3-6 加入したいスポーツクラブ・同好会（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	民間スポーツクラブや会員制のクラブ	34.7	32.4	42.2	31.1	26.3	39.2	37.6	38.8	44.9
2	加入したくない	24.2	21.4	29.3	23.9	25.4	27.5	24.4	17.7	30.2
3	スポーツクラブ21・コミスクや同好会	17.3	16.2	23.4	15.9	12.9	24.5	18.5	18.8	22.8
4	職場のクラブや同好会	6.2	5.8	5.5	11.1	7.1	9.5	2.1	3.8	3.0
5	学校のクラブや同好会	2.4	4.3	3.7	2.1	2.1	3.6	2.6	6.1	3.7

3-7 「スポーツクラブ 21」 への入会状況

図 3-7-1 は「スポーツクラブ 21」への加入状況を全体及び性別で示したものである。「会員になっている」と回答したのは全体 3.7%、男性 3.0%、女性 3.4%であり、「全く知らない」と回答したのは全体 73.9%、男性 78.1%、女性 70.5%であり、男性の方がやや多い。

性別・年代別でみると（図 3-7-2、図 3-7-3）、男女ともに高齢者層が「会員になっている」割合が最も多く、壮年層が「全く知らない」割合が最も多いことがわかる。特に男性の壮年層においては「加入している」が 1.4%であり、「全く知らない」が 88.5%となっている。

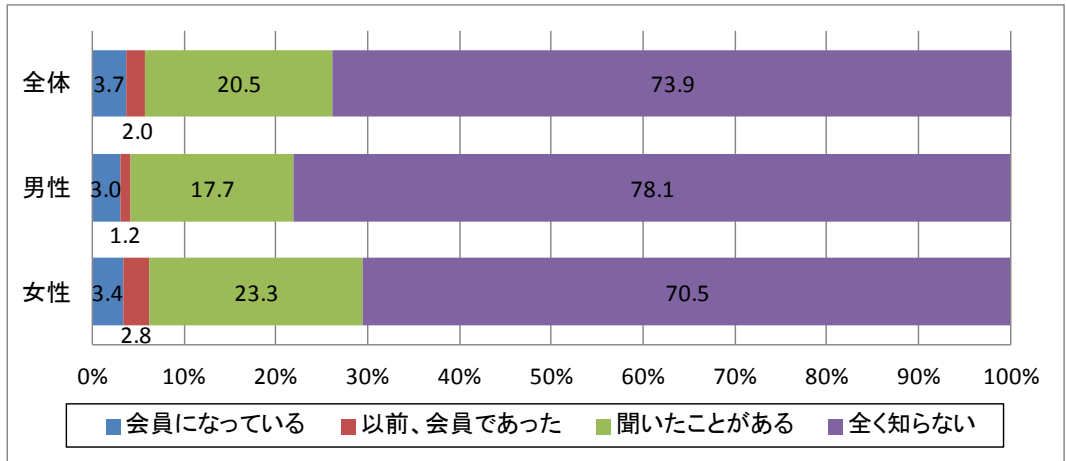


図 3-7-1 「スポーツクラブ 21」 への入会状況

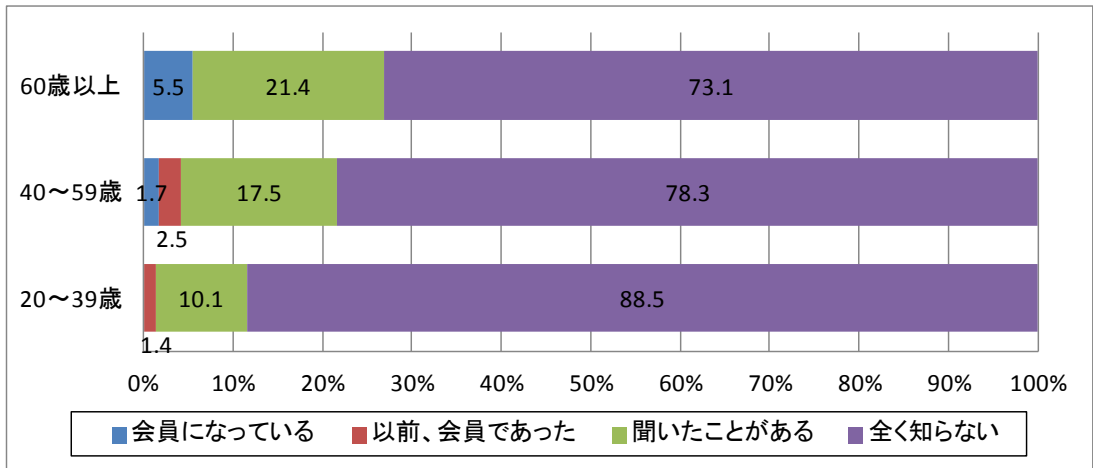


図 3-7-2 「スポーツクラブ 21」 への入会状況(男性・年代別)

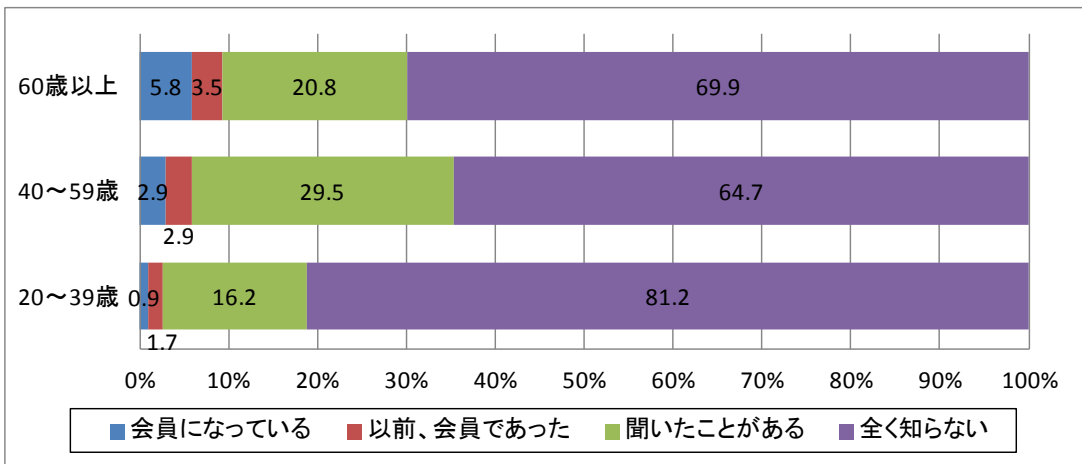


図 3-7-3 「スポーツクラブ 21」 への入会状況(女性・年代別)

#### 4. スポーツ施設について

##### 4-1 体育・スポーツ施設の利用状況

表4-1-1は芦屋市民がこの1年間に運動・スポーツを行った施設の利用状況を示したものである。1位「公園（河川敷含む）」（32.8%）、2位「道路」（31.7%）、3位「自宅」（23.9%）、4位「高原・山」（20.8%）、5位「屋内プール」（18.9%）、6位「海・海岸」（15.2%）、7位「体育館」（14.9%）、8位「ゴルフ場（コース）」（14.2%）、9位「トレーニングルーム」（11.9%）、10位「ゴルフ場（練習場）」（11.3%）の順になっている。

男女で比較してみると、男性は「ゴルフ場（コース）」、「ゴルフ場（練習場）」と屋外施設が女性に比べて多く、女性は「自宅」、「ダンススタジオ」と屋内施設が男性に比べて多い。

表4-1-2は、表4-1-1の施設を6つに分類したものである。1位「公共の施設」（78.5%）、2位「民間の施設」（78.3%）、3位「その他」（31.6%）の順となっているが、これらに続く施設分類の利用は少なく、4位「小・中・高校の学校施設」（6.6%）、5位「職場の施設」（2.3%）、6位「大学の学校施設」（1.9%）となっている。学校体育施設が我が国のスポーツ施設の約半数を占めていることを考慮すると、「小・中・高校の学校施設」、「大学の学校施設」の利用状況は少ない。

表4-1-1 この1年間で運動・スポーツを行った具体的な施設（複数回答）

順位	具体的施設	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	公園(河川敷含む)	32.8	32.4	33.1
2	道路	31.7	29.7	33.1
3	自宅	23.9	11.8	32.8
4	高原・山	20.8	17.2	23.4
5	屋内プール	18.9	21.3	17.2
6	海・海岸	15.2	18.9	12.4
7	体育館	14.9	15.2	14.7
8	ゴルフ場(コース)	14.2	24.3	6.7
9	トレーニングルーム	11.9	9.8	13.4
10	ゴルフ場(練習場)	11.3	16.9	7.2
11	テニスコート	9.7	9.8	9.7
12	ボウリング場	9.7	11.8	8.2
13	屋外プール	8.3	11.5	6.0
14	グラウンド	7.7	11.1	5.2
15	ダンススタジオ	6.9	1.7	10.7
16	その他	4.7	3.0	6.0
17	スキー場・アイススケート場	4.4	5.7	3.5
18	野球場・ソフト場	3.3	7.1	0.5
19	サイクリングコース	3.2	5.1	1.7
20	陸上競技場	0.7	1.7	0.0
21	武道場	0.7	1.0	0.5
22	ゲートボール場	0.1	0.0	0.2

表4-1-2 この1年間で運動・スポーツを行った施設の分類（複数回答）

順位	施設分類	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	公共の施設	78.5	79.2	77.8
2	民間の施設	78.3	83.1	74.4
3	その他	31.6	31.5	31.6
4	小・中・高校の学校施設	6.6	6.9	6.3
5	職場の施設	2.3	2.3	2.2
6	大学の学校施設	1.9	1.5	2.2



#### 4-2 スポーツ施設整備に関する要望

表 4-2 はスポーツ施設整備に関する要望をまとめたものである。1 位「公共スポーツ施設（体育館、プール、テニスコートなど）の整備」（38.6%）、2 位「自然を利用した施設の整備」（29.7%）、3 位「運動施設を備えた文化施設の整備」（22.3%）、4 位「運動広場の充実」（19.3%）、5 位「特にない」「小・中・高、大学などの学校の運動場、体育館、プールなどの体育施設の開放や整備」（18.1%）となっている。

前回、前々回と比較すると、「運動広場の充実」がやや増加し、「小・中・高、大学などの学校の運動場、体育館、プールなどの体育施設の開放や整備」が減少している。また、「自然を利用した施設の整備」が男性の要望としては減少し、女性の要望としては増加していることや、「運動施設を備えた文化施設の整備」が男性の要望としては増加し、女性の要望としては減少していることから、男女間でやや違いが見られる。

表 4-2 スポーツ施設整備に関する要望（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	公共スポーツ施設(体育館、プール、テニスコートなど)の整備	35.9	38.9	38.6	36.0	36.6	38.2	35.9	40.8	38.9
2	自然を利用した施設の整備	33.4	31.2	29.7	35.6	38.8	30.9	31.5	25.4	28.9
3	運動施設を備えた文化施設の整備	19.4	20.7	22.3	19.4	17.6	23.9	19.4	24.3	21.2
4	運動広場の充実	18.9	16.9	19.3	23.9	18.7	24.3	14.7	15.0	15.9
5	特にない	14.5	13.5	18.1	13.1	13.2	17.3	15.6	14.2	19.2
6	小、中、高、大学などの学校の運動場、体育館、プールなどの体育施設の開放や整備	18.8	21.4	18.1	22.1	24.9	19.5	15.9	18.5	17.1
7	民間スポーツ施設の整備	10.8	10.9	13.7	13.1	11.0	13.1	8.8	11.0	14.1
8	わからない	7.5	6.5	7.2	4.5	3.7	6.2	10.0	8.4	7.5
9	企業運動施設の開放	11.3	9.7	6.9	12.1	7.7	6.4	10.6	11.3	7.3
10	その他	5.2	3.1	4.2	6.2	6.2	2.6	4.4	4.4	6.0
11	スポーツクラブ21ひょうごの充実	-	-	3.5	-	-	5.0	-	-	2.6

#### 4-3 本市にほしい施設

表4-3は芦屋市民が今後どのような施設が欲しいのかを種目名で示したものである。1位「散歩・ウォーキング」(25.3%)、2位「水泳」(18.1%)、3位「ヨガ」(16.8%)、4位「サイクリング」(15.2%)、5位「ゴルフ場(練習場)」(13.7%)、6位「ストレッチング」(13.3%)、7位「ジョギング・ランニング」(12.4%)、8位「テニス」(10.5%)、9位「体操」(10.4%)、10位「ボウリング」(8.6%)の順になっている。

性別でみると、男性においては「サイクリング」、「ジョギング・ランニング」、「釣り」を行える屋外施設がほしいと回答した人が女性よりも多く、女性においては「ヨガ」、「ストレッチング」、「ダンス」を行える屋内施設がほしいと回答した人が男性よりも多いことがわかる。つまり、男性は『アウトドアスポーツ』を行える自然、道路の整備を求めており、女性は『スタジオプログラム』を行える身近な屋内施設を求めていることが示唆される。

表4-3 本市にほしい施設(複数回答)

順位	項目	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	散歩・ウォーキング	25.3	27.3	22.8
2	水泳	18.1	18.1	18.2
3	ヨガ	16.8	7.1	24.2
4	サイクリング	15.2	20.6	12.7
5	ゴルフ(練習場)	13.7	15.1	12.4
6	ストレッチング	13.3	8.0	16.4
7	ジョギング・ランニング	12.4	20.6	8.1
8	テニス	10.5	8.4	12.7
9	体操	10.4	8.4	11.0
10	ボウリング	8.6	7.1	9.8
11	マシントレーニング	7.4	8.4	6.9
12	ダンス	6.9	0.8	11.0
13	卓球	6.6	6.3	6.9
14	ハイキング	6.4	7.6	5.8
15	キャンプ	6.0	7.6	4.9
16	乗馬	6.0	3.4	8.4
17	釣り	4.9	9.2	2.0
18	アーチェリー	4.6	6.7	2.6
19	太極拳	4.6	3.4	5.5
20	バドミントン	4.6	5.0	4.6
21	サッカー、フットサル	4.2	5.0	3.7
22	野球	4.1	7.1	2.3
23	スケート	3.9	3.4	4.9
24	ゴルフ(コース)	3.3	5.0	1.4
25	エアロビクス	3.0	0.8	4.0
26	グラウンド・ゴルフ	3.0	2.5	3.2
27	登山	2.8	2.9	2.6
28	ソフトテニス	2.4	1.3	2.9
29	バスケットボール	2.4	2.9	2.3
30	パラグライダー	2.4	1.7	3.2
31	弓道	1.9	1.7	1.7
32	スキューバダイビング	1.9	2.1	2.0
33	バレーボール	1.7	1.3	2.0
34	ヨット	1.4	1.7	1.2
35	クォーターテニス(スポンジテニス)	1.3	0.8	1.4
36	ゲートボール	1.1	0.8	1.2
37	剣道	1.1	1.7	0.9
38	ボクシング	1.1	1.7	0.9
39	民謡	1.1	0.4	1.4
40	サーフィン	0.9	0.8	1.2
41	ハングライダー	0.9	0.4	1.2
42	ペタンク	0.9	1.7	0.6
43	ボートセーリング	0.9	0.0	1.7
44	陸上競技	0.9	1.7	0.6
45	カヌー	0.8	0.4	0.9
46	空手	0.8	1.3	0.6
47	スノーボード	0.8	1.3	0.6
48	ソフトボール	0.6	0.8	0.6
49	スキー	0.6	0.4	0.6
50	なわとび	0.6	0.4	0.6
51	柔道	0.5	1.3	0.0
52	少林寺拳法	0.5	1.3	0.0
53	トライアスロン	0.5	1.3	0.0
54	ラグビー	0.5	0.4	0.3
55	ローンボウルズ	0.3	0.4	0.3
56	モータースポーツ	0.2	0.4	0.0

#### 4-4 公共スポーツ施設への要望

芦屋市民は公共スポーツ施設に対してどのような要望を持っているのだろうか。表4-4はそれらの要望を集めたものである。1位「予約なしで参加できるプログラムがほしい」(47.4%)、2位「利用料金を安くしてほしい」(40.7%)、3位「施設の利用手続きを簡単にしてほしい」(34.6%)、4位「利用者の駐車料金を安くしてほしい」(30.4%)、5位「中・高齢者用のプログラムがほしい」(26.3%)となっている。

性別で比較してみると、「温水シャワーがほしい」、「夜間などの利用時間帯を延長してほしい」といった項目が女性よりも男性に多くみられる。一方、「予約なしで参加できるプログラムがほしい」、「利用料金を安くしてほしい」、「託児施設がほしい」といった項目は男性よりも女性に多くみられる。

前回、前々回と比較すると、「中・高齢者用のプログラムがほしい」、「クラブハウスやくつろぐ場がほしい」といった項目が今回では減少している。

表 4-4 公共スポーツ施設への要望（複数回答）

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	予約なしで参加できるプログラムがほしい	42.9	44.9	47.4	38.1	39.8	41.1	47.1	48.9	51.6
2	利用料金を安くしてほしい	43.2	43.0	40.7	42.2	39.0	33.8	44.1	45.9	45.3
3	施設の利用手続きを簡単にしてほしい	29.1	32.2	34.6	28.7	27.4	32.4	29.4	35.2	36.1
4	利用者の駐車料金を安くしてほしい	-	-	30.4	-	-	29.7	-	-	30.8
5	中・高齢者用のプログラムがほしい	32.3	32.1	26.3	27.3	34.1	25.7	36.5	31.4	26.7
6	健康・体力相談のプログラムがほしい	29.6	25.8	24.6	27.0	24.1	21.6	31.8	26.1	26.7
7	温水シャワーがほしい	18.4	19.1	18.1	18.7	17.3	21.3	18.2	20.8	15.9
8	夜間などの利用時間帯を延長してほしい	28.5	23.5	19.1	36.0	24.1	22.4	22.1	22.1	16.9
9	クラブハウスやくつろぐ場がほしい	19.2	23.3	15.7	19.4	25.7	17.5	19.1	20.2	14.5
10	専任指導者を配置してほしい	13.2	12.9	13.0	12.1	9.6	11.1	14.4	13.2	14.3
11	託児施設がほしい	7.3	7.9	7.2	4.2	4.8	3.5	10.0	11.6	9.6
12	その他	5.2	3.5	5.3	5.9	4.7	5.2	4.7	4.2	5.3
13	青少年用のプログラムがほしい	-	-	3.3	-	-	1.7	-	-	4.3
14	障害者用のプログラムがほしい	3.0	3.4	2.7	3.5	2.4	1.7	2.6	3.8	3.3

## 5. スポーツ情報について

### 5-1 運動・スポーツ情報のニーズ

表 5-1 は芦屋市民がどのような運動・スポーツの情報を必要としているかを示している。1位「スポーツ施設の案内」(44.7%)が前回、前々回と比べて大幅に増加していることから、身近な場所で運動・スポーツを行いたいと感じている人が増えてきていると言えるだろう。続いて、2位「各種スポーツ教室の案内」(41.4%)、3位「健康・体力づくり情報」(36.8%)、4位「新しいスポーツ、気軽にできる運動・スポーツなどの情報」(34.3%)、5位「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」(28.1%)となっている。

性別で見ると、男性が「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」、「自分が参加できるスポーツ競技会の情報」を女性よりも求めているのに対して、女性は「各種スポーツ教室の案内」、「新しいスポーツ、気軽にできる運動・スポーツなどの情報」を男性よりも求めていることがわかる。

前回から今回にかけて運動・スポーツ情報のニーズの順位は変動しているが、全てにおいて増加しており、運動・スポーツの情報に対して芦屋市民の関心の高さがうかがえる。

表 5-1 運動・スポーツ情報のニーズ (複数回答)

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	スポーツ施設の案内	34.2	29.9	44.7	37.9	35.5	45.8	31.1	35.5	44.4
2	各種スポーツ教室の案内	29.5	37.0	41.4	25.6	32.2	35.7	32.2	42.2	48.1
3	健康・体力づくり情報	31.2	29.5	36.8	27.6	28.6	34.7	34.3	32.4	38.2
4	新しいスポーツ、気軽にできる運動・スポーツなどの情報	19.6	26.0	34.3	14.7	22.3	27.9	23.8	28.9	37.6
5	スポーツ行事やスポーツイベントの情報	24.3	28.0	28.1	27.3	30.4	33.4	21.8	26.6	23.9
6	スポーツに関する医学的情報	17.0	13.0	18.5	16.7	15.4	18.5	17.2	12.1	18.8
7	自分が参加できるスポーツ競技会の情報	15.5	15.1	16.9	18.4	19.0	23.4	13.1	12.7	12.6
8	クラブ・同好会などの活動案内	17.3	15.1	16.7	17.7	17.7	17.5	16.9	11.6	15.4
9	各種スポーツ指導者の紹介	5.7	4.7	8.4	3.8	3.3	8.1	7.3	5.5	8.1
10	その他	-	-	3.2	-	-	4.2	-	-	2.6

### 5-2 運動・スポーツの情報源

表 5-1 で示したような情報を芦屋市民はどこから仕入れているのだろうか。表 5-2 は運動・スポーツの情報源を示したものである。1位「広報あしや」(43.2%)、2位「新聞・雑誌」(33.8%)、3位「知人や近所の友人」(27.7%)、4位「テレビ・ラジオ」(12.9%)、5位「スポーツクラブ 21・コミスク・自治会などの回覧」(11.2%)の順になっている。

「広報あしや」を運動・スポーツの情報源としている女性が男性よりも多く、男性は「専門誌」を情報源としている人が比較的多い。また、「知人や近所の友人」の口コミを情報源としている人が増加傾向にある一方で、「スポーツクラブ 21・コミスク・自治会などの回覧」を情報源にしている人は減少傾向にある。

表 5-2 運動・スポーツの情報源 (複数回答)

順位	項目	全体(%)			男性(%)			女性(%)		
		前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
1	広報あしや	45.2	44.7	43.2	40.6	42.1	33.5	49.1	47.7	49.3
2	新聞・雑誌	35.9	30.8	33.8	35.5	37.4	32.9	36.3	25.7	34.3
3	知人や近所の友人	21.8	20.8	27.7	17.1	16.5	26.5	25.9	22.8	28.7
4	テレビ・ラジオ	14.4	14.7	12.9	13.0	13.6	12.3	15.7	11.0	12.7
5	スポーツクラブ21・コミスク・自治会などの回覧	13.3	19.6	11.2	11.6	14.3	8.0	14.8	23.4	12.9
6	市ホームページ、チラシ等	-	-	9.2	-	-	11.4	-	-	8.2
7	ポスター等	-	-	7.8	-	-	6.8	-	-	8.0
8	クラブや同好会	6.4	6.9	7.2	8.2	8.1	9.5	4.9	6.1	4.9
9	専門誌	5.5	3.4	6.4	8.9	5.1	10.2	2.6	2.0	4.1
10	職場や施設の仲間	6.6	5.4	6.3	11.9	5.9	9.8	2.0	4.9	4.5
11	市体育協会ホームページ、チラシ等	-	-	2.1	-	-	2.5	-	-	2.3
12	その他	-	-	8.1	-	-	10.5	-	-	7.4

## 6. スポーツ観戦について

### 6-1 観戦経験

図6-1は、過去1年間にテレビの視聴等を除き、直接スポーツの試合を観戦したことがある人の割合を示している。全体では「ある」と回答した人が44.3%、「ない」と回答した人が55.7%となっている。性別で見ると、男性においては「ある」と回答した人が50.1%、「ない」と回答した人が49.9%、女性においては「ある」と回答した人が38.8%、「ない」と回答した人が61.2%となっており、男性の方が直接スポーツ観戦をしたことがある人が多い。

また表6-1は、図6-1で「ある」と回答した人に観戦種目をたずねたものである。1位「野球」(43.4%)、2位「サッカー」(20.1%)、3位「プロ野球」(8.4%)、4位「ゴルフ」(5.0%)、5位「テニス」(3.7%)の順となっている。

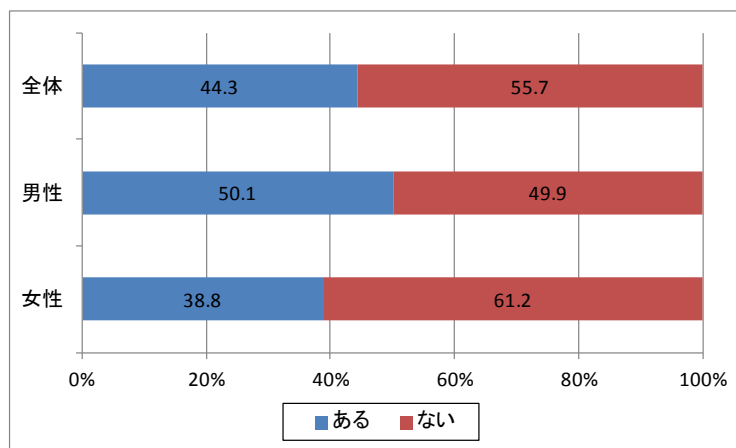


図6-1 過去1年間のスポーツの直接観戦経験

表 6-1 過去1年間のスポーツ観戦種目 (n=403)

順位	種目	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	野球	43.4	46.8	41.1
2	サッカー	20.1	15.2	22.3
3	プロ野球	8.4	11.1	7.1
4	ゴルフ	5.0	5.8	3.6
5	テニス	3.7	2.3	4.6
6	ラグビー	2.2	2.9	2.0
7	バスケットボール	1.7	1.8	2.0
8	高校野球	1.7	1.2	2.0
9	バレーボール	1.5	1.2	1.5
10	アメリカンフットボール	0.7	0.6	1.0
11	オリンピック	0.7	0.6	1.0
12	マラソン	0.7	0.6	1.0
13	モータースポーツ	0.7	1.2	0.5
14	相撲	0.7	-	1.5
15	卓球	0.7	0.6	1.0
16	陸上	0.7	0.6	1.0
17	フィギュアスケート	0.5	0.6	0.5
18	ボクシング	0.5	1.2	-
19	女子サッカー	0.5	-	0.5
20	水泳	0.5	0.6	0.5
21	F1	0.2	0.6	-
22	Vリーグ	0.2	-	0.5
23	アイススケート	0.2	-	0.5
24	アマチュアスポーツ	0.2	0.6	-
25	グランドゴルフ	0.2	0.6	-
26	ソフトテニス	0.2	0.6	-
27	ソフトバレーボール	0.2	-	-
28	バドミントン	0.2	0.6	-
29	フットサル	0.2	-	0.5
30	ペタンク	0.2	-	0.5
31	ミニバスケ	0.2	-	0.5
32	空手	0.2	0.6	-
33	剣道	0.2	-	0.5
34	車いすバスケ	0.2	-	0.5
35	女子プロゴルフ	0.2	-	0.5
36	女子プロテニス	0.2	0.6	-
37	少年野球	0.2	0.6	-
38	新体操	0.2	-	0.5
39	太極拳	0.2	-	0.5
40	中央公園の各種スポーツ	0.2	0.6	-

## 7. スポーツ・ボランティアについて

### 7-1 スポーツ・ボランティア経験

図7-1は過去1年間に何らかのスポーツに関わるボランティア活動を行なったことがあるかどうかをたずねたものである。「ある」と回答した人は全体で7.9%、男性10.1%、女性6.4%となっており、9割強の人は、スポーツ・ボランティア経験がない。

「ある」と回答した人に具体的なスポーツ・ボランティア活動をたずねたものが表7-1である。1位「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」(56.9%)、2位「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」(46.6%)、3位「【日常的な活動】スポーツの指導」(31.0%)となっている。男性においてはスポーツの審判を行っている人が多く、女性においては地域のスポーツイベントの大会・イベントの運営や世話を行っている人が多い。

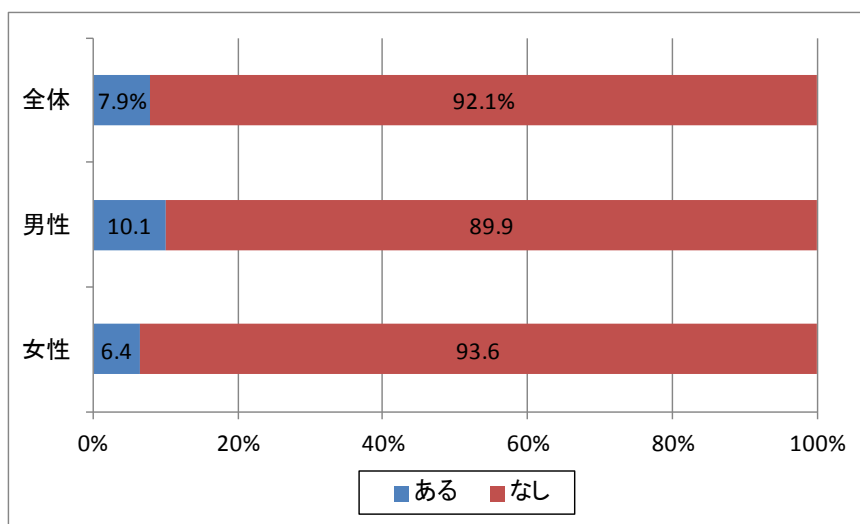


図7-1 過去1年間のスポーツ・ボランティア経験の有無

順位	ボランティア活動	全体 (%)	男性 (%)	女性 (%)
1	【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話	56.9	41.4	72.4
2	【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話	46.6	58.6	34.5
3	【日常的な活動】スポーツの指導	31.0	37.9	24.1
4	【日常的な活動】スポーツの審判	17.2	31.0	3.4
5	【地域のスポーツイベント】スポーツの審判	15.5	24.1	6.9
6	【全国・国際的イベント】大会・イベントの運営や世話	12.1	13.8	10.3
7	【全国・国際的イベント】スポーツの審判	6.9	10.3	3.4
8	その他	5.2	3.4	6.9
9	【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い	3.4	6.9	0.0

表7-1 過去1年間に行ったことのあるスポーツ・ボランティア活動 (n=65) (複数回答)

## 7-2 スポーツ・ボランティア希望

図 7-2 は今後スポーツに関わるボランティア活動を行いたいかどうかをたずねたものである。「ぜひ行いたい」、「できれば行いたい」と積極的な姿勢を示した意見を合わせても、全体で 13.7%、男性 17.0%、女性 11.4%となっている。「できれば行いたくない」、「あまり行いたくない」、「わからない」といった消極的な姿勢の意見が大半を占めている。

「ぜひ行いたい」、「できれば行いたい」と回答した人に今後行いたいスポーツ・ボランティア活動の内容をたずねたものが表 7-2 である。1 位「地域のスポーツイベントの運営や世話」(47.8%)、2 位「日常的な団体・クラブの運営や世話」(38.9%)、3 位「全国・国際的なスポーツイベントの運営や世話」(33.6%)、4 位「日常的なスポーツ施設の管理の手伝い」(24.8%)、5 位「日常的なスポーツの指導」(18.6%) の順となっている。

性別で比較してみると、男性においては「日常的なスポーツの指導」が女性と比べて多く、女性においては「地域のスポーツイベントの運営や世話」が男性より多くなっている。

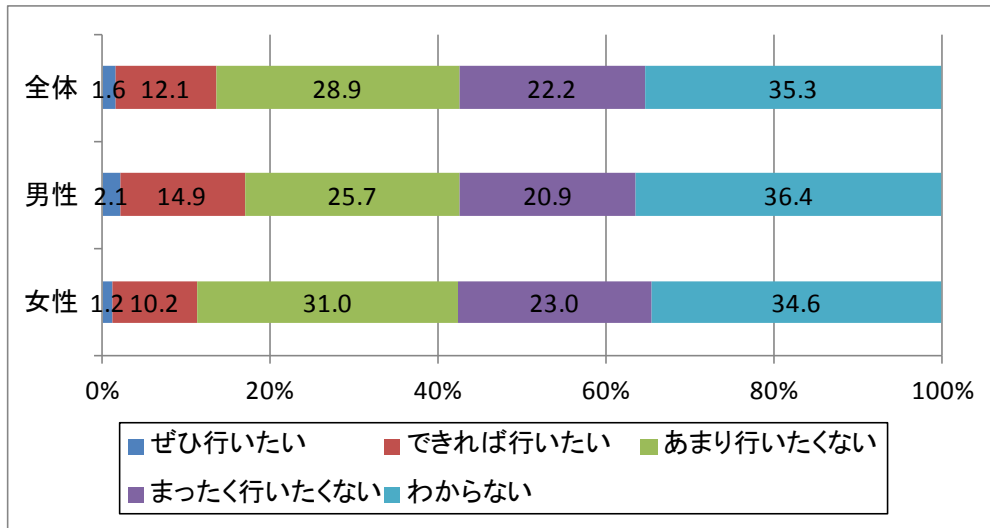


図 7-2 今後のスポーツ・ボランティア活動の希望

表 7-2 今後行いたいスポーツ・ボランティア活動の内容 (n=124) (複数回答)

順位	ボランティア活動	全体 (%)	男性 (%)	女性 (%)
1	地域のスポーツイベントの運営や世話	47.8	41.1	54.4
2	日常的な団体・クラブの運営や世話	38.9	42.9	35.1
3	全国・国際的なスポーツイベントの運営や世話	33.6	30.4	36.8
4	日常的なスポーツ施設の管理の手伝い	24.8	23.2	26.3
5	日常的なスポーツの指導	18.6	25.0	12.3
6	スポーツ情報誌やホームページ作成の手伝い	10.6	7.1	14.0
7	日常的なスポーツの審判	5.3	7.1	3.5
8	地域のスポーツイベントでの審判	4.4	5.4	3.5
9	全国・国際的なスポーツイベントでの審判	2.7	3.6	1.8
10	その他	1.8	0.0	3.5



## 8. スポーツの国際大会について

### 8-1 スポーツの国際大会への関心

芦屋市民は、スポーツの国際大会への関心をどの程度持っているのだろうか。「非常に関心がある」は全体で37.4%、男性43.3%、女性33.5%、「やや関心がある」は全体48.8%、男性44.2%、女性52.0%となっており、芦屋市民のスポーツの国際大会への関心は高いと言えるだろう。

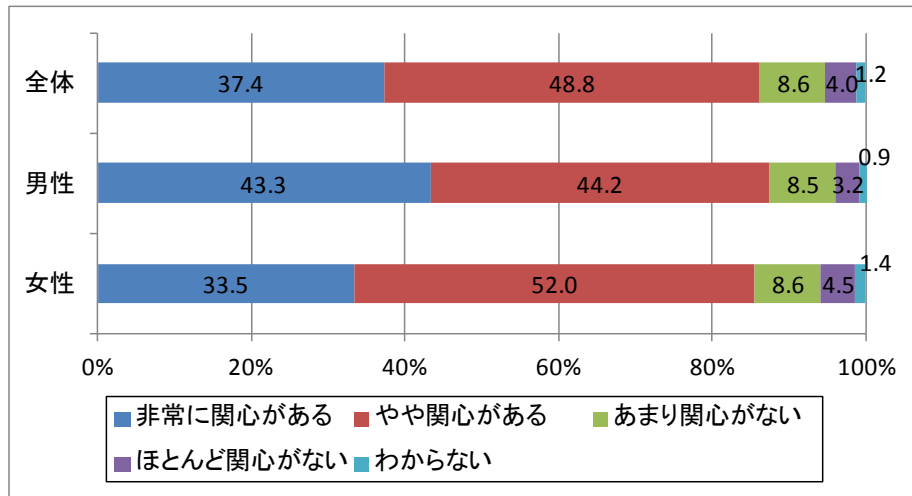


図 8-1 スポーツの国際大会への関心

### 8-2 スポーツの国際大会開催に対する態度

それでは、オリンピック競技大会や世界選手権大会などの国際大会をわが国で開催することに関してはどう思っているのだろうか。「好ましい」が全体49.3%、男性55.2%、女性45.4%、「どちらかと言えば好ましい」が全体34.4%、男性30.6%、女性37.0%となっており、8割強の人が我が国での国際大会の開催について好ましいと考えている。

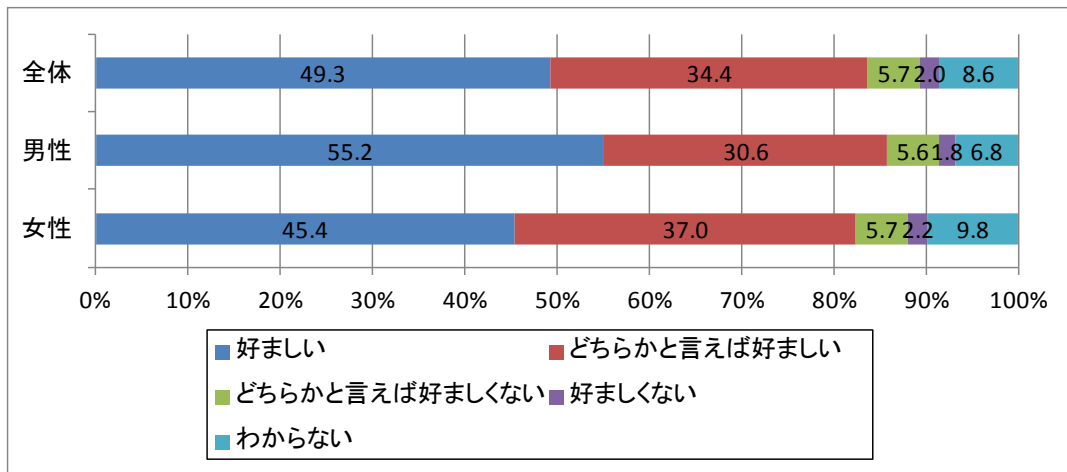


図 8-2 スポーツの国際大会開催に対する態度

## 9. 障がい者スポーツについて

### 9-1 障がい者スポーツへの関与

表 9-1 は障がい者スポーツへの関与を表にしたものである。1 位「テレビやラジオ、新聞などで、間接的に見たり、聞いたことがある」(84.1%)、2 位「全く知らない」(10.2%)、3 位「直接観戦したり、または参加したことがある」(4.7%)、4 位「指導や介助、スポーツ大会スタッフなどに関わっている、または関わったことがある」(3.4%) となっており、約 9 割の人が何らかの形で障がい者スポーツに関与しているが、8 割強の人が間接的な関与であることがわかる。

表 9-1 障がい者スポーツへの関与 (複数回答)

順位		全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	テレビやラジオ、新聞などで、間接的に見たり、聞いたことがある	84.1	84.0	84.2
2	全く知らない	10.2	10.2	10.2
3	直接観戦したり、または参加したことがある	4.7	3.5	5.5
4	指導や介助、スポーツ大会スタッフなどに関わっている、または関わったことがある	3.4	2.6	3.9

### 9-2 障がい者スポーツのボランティア

図 9-2 は、今後障がい者スポーツを支援するボランティア活動を行いたいかどうかをたずねたものである。「ぜひ行いたい」、「できれば行いたい」と積極的な意見を合わせると、全体 14.8%、男性 15.4%、女性 14.2% となっている。「わからない」と回答した人の割合が全体 42.8%、男性 44.2%、女性 41.9% となっており、最も多い。

表 9-2 は「ぜひ行いたい」、「できれば行いたい」と回答した人に今後行いたい障がい者スポーツに関するボランティア活動の内容をたずねたものである。1 位「スポーツ大会・イベントの運営や手伝い」(82.9%)、2 位「スポーツ団体・クラブの運営や手伝い」(37.4%)、3 位「スポーツの指導や助言」(9.8%) の順になっている。男性は「スポーツ団体・クラブの運営や手伝い」が女性に比べて多く、女性は「スポーツ大会・イベントの運営や手伝い」が男性に比べて多くなっている。

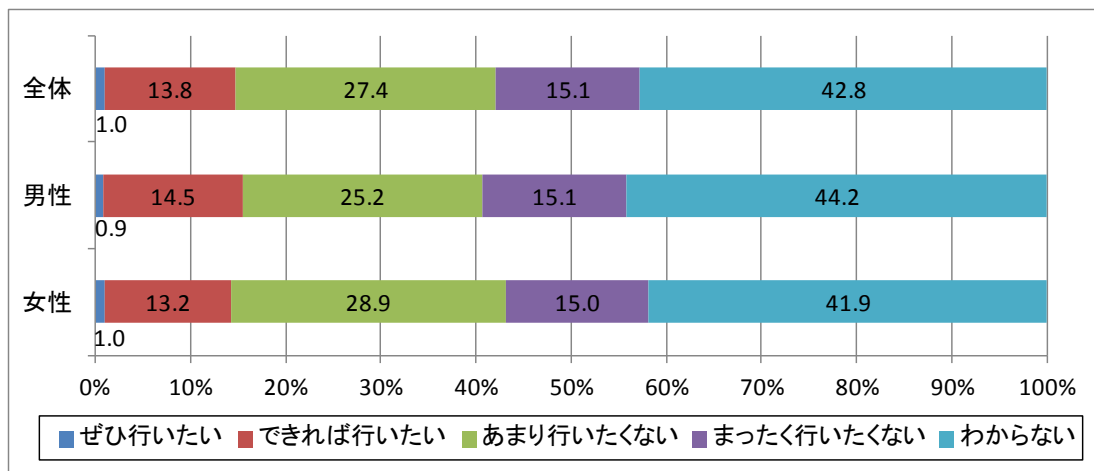


図 9-1 今後の障がい者スポーツに関するボランティア活動希望

表 9-2 今後行いたい障がい者スポーツに関するボランティア活動内容 (n=132) (複数回答)

順位	活動内容	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	スポーツ大会・イベントの運営や手伝い	82.9	76.5	87.5
2	スポーツ団体・クラブの運営や手伝い	37.4	54.1	31.9
3	スポーツの指導や助言	9.8	9.8	9.7
4	その他	3.3	2.0	4.2
5	スポーツ大会における審判	1.6	2.0	1.4

### 9-3 障がい者スポーツの普及・推進

芦屋市民は、今後障がい者スポーツを普及・推進していくためにどのようなことが必要だと思っているだろうか。1位は「身近なスポーツ施設のバリアフリー化を進め、利用しやすくする」(54.3%)で、他の項目と大きく差が開いている。続いて、2位「障がい者の優先スポーツ施設の整備と一般公共体育施設に障がい者スポーツ用具を整備する」(10.1%)、3位「障がい者スポーツ教室・大会を開催する」(8.3%)、4位「身近な地域で障がい者スポーツのサークルを育成する」(6.9%)、5位「指導者を増やす」(5.2%)の順になっている。

表 9-3 障がい者スポーツの普及・推進のために必要だと思うこと（複数回答）

順位	項目	全体(%)	男性(%)	女性(%)
1	身近なスポーツ施設のバリアフリー化を進め、利用しやすくする	54.3	50.9	56.5
2	障がい者の優先スポーツ施設の整備と一般公共体育施設に障がい者スポーツ用具を整備する	10.1	11.6	9.1
3	障がい者スポーツ教室・大会を開催する	8.3	7.8	8.5
4	身近な地域で障がい者スポーツのサークルを育成する	6.9	5.9	7.5
5	指導者を増やす	5.2	5.9	4.7
6	パラリンピック選手や障がい者スポーツ団体に対し資金的な援助をする	3.2	3.4	3.0
7	障がい者スポーツ情報の提供を充実する	2.3	2.8	2.0
8	障がい者の健康づくりに役立つ「運動」を普及する	2.3	2.5	2.2
9	障がい者スポーツを応援するボランティアを増やす	2.2	3.4	1.4
10	新聞やテレビで、障がい者スポーツについて取り上げる機会を増やす	2.1	2.2	2.0
11	重度障がい者や高齢障がい者が気軽にできるスポーツを研究・開発する	1.2	1.3	1.2
12	その他	1.0	1.3	0.8
13	学校教育の中で、障がい者スポーツを学ぶ機会を作る	0.9	0.9	0.8

## 10. スポーツ振興について

### 10-1 スポーツ行政への要望

表 10-1 は、スポーツや運動をより推進させるために、芦屋市に対する要望をまとめたものである。1 位「地域で、身近に利用できるスポーツ施設を整備する」(60.6%)、2 位「スポーツの情報サービスを充実する」(31.0%)、3 位「各種のスポーツ教室やイベントを開催する」(30.6%)、4 位「野外のスポーツ・レクリエーション施設を整備する」(23.6%)、5 位「学校の施設開放を進める」(19.6%)となっている。

性別で比較してみると、男性においては「野外のスポーツ・レクリエーション施設を整備する」が女性より多くなっており、女性においては「地域で、身近に利用できるスポーツ施設を整備する」が男性よりも多くなっている。前回に比べて「地域で、身近に利用できるスポーツ施設を整備する」がやや減少している。

表 10-1 スポーツ行政への要望（複数回答）

順位	項目	全体 (%)		男性 (%)		女性 (%)	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	地域で、身近に利用できるスポーツ施設を整備する	71.7	60.6	72.0	57.3	71.7	65.1
2	スポーツの情報サービスを充実する	26.5	31.0	25.1	32.6	27.9	30.3
3	各種のスポーツ教室やイベントを開催する	30.2	30.6	26.7	29.7	35.4	32.9
4	野外のスポーツ・レクリエーション施設を整備する	25.3	23.6	34.2	29.7	19.0	20.6
5	学校の施設開放を進める	23.2	19.6	28.4	21.2	20.3	19.6
6	生涯スポーツのリーダーや指導者を養成する	19.0	14.4	15.7	10.5	20.6	16.7
7	スポーツの医・科学研究を促進する	13.6	13.0	11.9	14.0	15.5	13.1
8	全国的なスポーツイベントを誘致する	7.4	8.7	7.8	9.9	7.0	8.2
9	競技力向上のため、優れた指導者の養成や選手の育成、強化を図る	8.7	7.5	7.0	7.6	10.1	7.8
10	全国大会が開催できる競技施設を整備・充実させる	5.4	5.8	6.6	7.8	5.1	5.3
11	スポーツに関する国際交流を進める	8.2	5.5	6.6	5.8	10.2	5.5
12	その他	3.5	5.9	3.2	6.1	3.5	5.3